(一)號八十四百八千三第　明治三十九年八月十日第三種郵便物認可　THE KEIJO NIPPO　大正七年六月九日　(六中無休刊日)

京城日報

六月八日夕刊 (朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價 壹部金參錢 壹ヶ月金七拾五錢
廣告料金
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 小川三之介

◎巴里目標進撃戰

獨軍決戰に移らんとす

獨軍は巴里を目標とする進撃戰闘は益々進展し今や決戰に移り其情勢恰も千九百十四年九月獨軍が海岸を目標として進展せる戰闘に髣髴たりオアズ、マルヌ兩河間に獨軍は密集部隊を使用し決戰に移らんとしつゝあり（巴里電報）

◎獨軍新攻勢兆候

獨軍はノアイヨン、モンヂヂエ線又は佛軍の右翼即ちヴエルダン方面に向つて更に攻勢を執らんとするの兆あり（巴里電報）

◎墺匈國分立決議

佛國ベルサイユ會議に於て墺匈國分立を決議せり（巴里電報）

◎佛某將軍殺害さる

佛國大統領ポアンカレー氏は最近某將軍と共に戰線視察中或地點に於て陣地觀測を行ひ該地點を去るや獨逸騎兵偵察隊は居殘れる某將軍を襲撃して是れを殪し護衛兵を捕虜としたるが大統領は僅かに身を以て免るゝを得たりと（巴里電報）

◎米船舶讓渡禁止

米國政府船舶管理局にては百噸以上の船舶を外國に讓り渡す事を禁止せり（羅府經由電報）

◎對露政策態度一致

對露政策に關する聯合國の態度は漸く完全なる一致を見るに至りたるを以て聯合國は近く日本政府に對し聯合交渉を開始す可しと（巴里電報）

◎セ軍進撃防備

勞兵會

浦鹽勞兵會は沿海州に侵撃し來れるセミヨノフ軍防備の爲め特別會議を開きスパノフ外四名より成る革命軍司令部を設け之に浦鹽市街及び要塞の防備を一任せり（浦鹽電報）

◎セ軍陣容大に革る

セミヨノフ軍は過激派軍に對しオノン河畔なる約四十露里の手前なるハダブラクに陣し居れるがセ軍は左右より大迂廻部隊を派して敵の背面を突かん爲め去る一日頃偵察に赴き今明日頃交戰を見るべく過激派軍の前線は一千三百の步兵と三百五十の騎兵二門づつの機關砲野砲あり尙セミヨノフ軍の陣容大に革りたり（哈爾賓電報）

◎後貝加爾暴動

後貝加爾ウシカラに暴動起り邦人十四名同地を引揚げたり（浦鹽電報）

◎後貝加爾州民避難光景慘

後貝加爾戰線よりの歸來者談に據れば『同州民が日本軍の來援に對し恰も旱天に雲霓を望むが如くなるは勿論なるが此の程過激派の暴虐に依り燒き拂はれ又は掠奪されたる避難民が駱駝車馬に依り陸續滿洲里に避難する者今や三千餘名に達し大部分は貨車中に假住し光景實に悲慘を極め居れり』（哈爾賓電報）

◎徐世昌南北調停か

徐世昌氏は六日段總理に招かれて入京せるが多分南北調停の爲めならん（北京特電）

◎米元副大統領逝去

米國元副大統領ツイリヤム、フエアバンクス氏四日夜逝去せり（紐育特電）

◎コ殿下御來朝準備協議

コンノート殿下近く御來朝に就き戶田式部長官以下接伴官は七日參集歡迎準備に就き協議せり（東京特電）

◎債券販賣取締

今回東京にては債券の月賦販賣を禁止したるが大阪にても制限的に取締る由なり（京都特電）

◎勸債發行許可

政府は七月中に勸業債券八百萬圓發行の件を許可せり（東京電報）

◎布目少將通過

海軍省水路部長海軍少將布目滿造氏は八日朝著釜直に十時半發列車にて京城に向へり（釜山特電）

◎今村財務官北行

今村財務官一行は八日午前十時半發列車にて北行せり（安東特電）

◎佛大使館書記官

在東京駐劄佛國大使館記錄書記官兼副領事エドム、ガロアー氏は家族同伴八日朝著釜直に十時半發急行にて京城へ向へり（釜山特電）

◎總督東上用件

長谷川總督今回の東上は主として朝鮮の狀況を上奏し同時に朝鮮物産を天覽に供し奉り旁々内閣と事務の打合を爲すが爲にて滯在一箇月餘に亙るべく尙ほ恰も御來朝のコンノート殿下を奉迎し各種の御饗宴等に參列すべしと聞く

◎總監團隊長招待

山縣政務總監は十日午後七時朝鮮ホテルに於て目下開會中の團隊長會議出席者五十九名を招待し晩餐會を催すべく總督府側よりは持地、鈴木、小原の各長官、關屋、荻田、人見の各局長、高橋武官、澤田、遠藤兩課長其他松川軍司令官立花師團長、松永□長、古海警務總長金谷府尹等主客七十三名出席すべし

◎團隊長會議

朝鮮軍團隊長會議は八日より開會せしが司令部よりは松川軍司令官、市川參謀長、廣瀨經理、佐藤軍醫兩部長以下幕僚出席團隊側は立花第十九師團長大村三十七、早川三十九兩旅團長金久保第四十旅團長以下團隊長著席日程により松川軍司令官の訓示、市川參謀長廣瀨經理部長その他の講演あり事務打合書類を配布して散會せり

◎朝鮮殖産銀行設立に就て（三）

鈴木度支部長官談

今回制令を以て朝鮮殖産銀行令發布せられたるが同銀行は則ち現在朝鮮各地に分散する六農工銀行を統一合併し同時に資本を增大し朝鮮の殖産上重要なる金融機關として成立するものにして今其の設立趣旨及順序の綱要を説明せむとす併合以來諸般の施設は著々として其の步武を進め殊に

▲産業の發達は 實に顯著なるものあり今試に主要農産品に付之を觀察するに明治四十三年の總生産價格一億五千萬圓に對し大正五年は三億千五百萬圓に達し殆ど倍額以上の增進を示し就中農家副業の進步は刮目見るべきものあり又水利事業の如き比年各地に大小の計畫を見現在水利組合十四其の蒙利地面積三萬町步にして之に投せられたる資金は實に四百萬圓の巨額に上り又林業に至りては併合以來造林面積

▲十二萬二千町步 此の投資二百五十萬圓と積算せらる其の他水産業鑛業商工業等今一々茲に絮説を爲さずと雖も併合後數年誠に隔世の感あらしむ抑朝鮮農工銀行は明治三十九年六月より漸次各地に設立せられたるものにして政府は其の株式を引受け或は多額の貸下金を爲し其の營業を保護し現今本店六支店四十一を各地に分布し設立以來農工資金の供給と併て商業金融の任に當り金融機關の全然欠缺したる朝鮮にて周く

▲金融の利便を 理解せしめ殊に朝鮮農民の如き從來疲憊の極に達したるものに對し進んで資金の融通を圖り扶掖誘導只管其の向上發展に務め以て産業興隆の素因を與へ經濟思想の喚起に寄與するところ尠少ならざるものあり然りと雖も其の擁する資本額は各行合計僅に二百六十萬圓にして創始の時に適應の施設も今は既に時代の推移に後るゝこと遠く加ふるに産業發達の狀態に對比し且最近經濟躍進の趨向に鑑み更に之を

▲戰後來るべき 大勢に想到して轉た其の勢力の微弱なるを思はざるを得ず依て茲に農工銀行組織の根本に革新を加へ農工銀行分立の制を改め之を統一して一大銀行と爲し朝鮮全道の資力及び信用を一團として内鮮兩地より普ねく資本を蒐集し材能ある理事者を擧げて其の管理を委ね以て半島將來の經濟に貢獻せしめむとす今新銀行令に於て農工銀行に比し改善せられたる主要點を擧ぐれば

一、農工銀行の資本金は各行を通計して二百六十萬圓なるも之を增大して一千萬圓と爲せり

二、農工銀行の株主は營業區域内に一年以上住所を有する農工業者に限りたりしも前號の如く資金の增大せし結果普ねく株主を求むるが爲め此の資格制限を撤廢して帝國臣民は住所及び業務に係らず株主と爲すことを得せしむ

三、債券の發行能力は從來拂込資本の五倍なりしも之を拂込資本額の十倍に擴張せり即ち新銀行の第一回拂込資本金は四百餘萬圓なるを以て成立の曉には必要に應じ四千萬圓迄債券を發行し得るものとす

◎開發され行く北朝鮮

新政の惠澤在外の朝鮮人に及ぶ

小原農商工部長官の談

間島並に北鮮地方の視察を終りて七日歸任せし小原農商工部長官の談に曰く

▲北朝鮮方面 は昨秋全通した清津會寧間の鐵道と本年四月から開航した日本海横斷航路とに餘程刺戟を受けて各方面共開發の機運を大に促進されてゐるやうだ、殊に問題となつてゐる吉會線でも敷設される事となりそれが清津で日本海航路と連絡するやうになつたら從來交通の關係上閑却されがちであつた此邊も餘程世人の注目を惹めるであらうと思ふ、一體北鮮方面は普通農事と漁業を除くと工業に屬するパルプの製造とか製粉製紙製鐵などの事業は全くその企畫を見なかつたが交通の整備と資本家の注目とは北鮮方面に於ける工業原料の豐富とは

▲各種事業 の計畫を實現するやうな狀態に押し進んでゐる、島に入つて朝鮮人の孜々として農耕方面に働らきつゝある實狀と露國の經濟力の下にある如く曰はれてゐた琿春方面を視察して其の市中の商品の如きが僅に少量の南支産の織物類を除く外全部吾國の輸出品に充されてゐると云ふ實狀はつまり此方面に於ける吾商勢の進出を事實上に語つてゐるものであつて此の行の愉快なる見物の一つであつた、又鐵道船舶の發達は間島方面に於ける鮮人農産物の排作を有利ならしめ又その輸入品の價格を低落し更に

▲交通往來 にも少なからぬ便宜を與へるのであつて新政の惠澤が在外の鮮人にも普ねく行くを見るに足るべく之等は總て間島鮮人一部の間のよからぬ思想にも正當な了解を芽生させしむるものと考へらるゝ、咸鏡北道は畜産を主とし色々な天産物が豐富であつて境域は露支兩國の國境に接壤し面積は廣いし道民は南鮮方面に比し富んでゐるやうで將來餘程面白い所のやうである、北鮮の鑛業も此の行視られる丈けは視察して來たが久原の甲山銅山も頻りに作業を續けてゐる將來ドの位まで伸びて行くか生命はドの位なものか左樣な方面は容易に知り難いが少なくも

▲現狀は活氣 もあり產銅も相當にあるらしい、又甲山銅山の産銅と所要の物資とは城津を經て輸送してゐるので何や彼やで城津は可なり景氣が好い、それに此の地方は黑鉛の產出が少なくないので黑鉛の小成金も出來てゐるらしい、甲山の銅城津の黑鉛と別さするも石炭鐵金なぞは現に採鑛されつゝあるものも大分あるが將來尙見出さるゝものは少なくあるまいと思はれる、漁業の如きも予の當初の豫想より餘程發達してゐた、將來も尙ほ大に餘地を存せりと稱してよい、咸興は道廳の所在地として道内の誠によい位置を占めてゐる、恐らく

▲道廳所在地 として各道中京城大邱に亞ぐと稱してよろしからう、咸興平野も二十里四方と云ふ廣さと聞いたが、生産力の問題を別として恐らく全州平野より廣いであらう、予は咸興より此の平野を永興に自働車を驅つて七日朝永興發一月の北鮮の旅を終つたのであるが要するに詳しく話せば際限はないけれど北朝鮮も新に大によい方面に動いて行くだらうと思ふ

◎中央市場條規案（十三）

京城商業會議所研究案

吾人は神戶に於ける市場會社の料金を計算して一步一厘乃至一步六厘の料金を徵收せるを發見し本條に於ては其の中間の一步二厘の定率を規定せり今之を右の

▲問屋の利得 より差引く時は問屋は一步八厘乃至三步八厘を益することゝなるが如し此の際仲買の步戻を削減して右の比例を二割乃至二割五分程度に止め更に營業稅に多少の手加減を加ふる時は問屋として差して苦痛にあらざるべしと信ず此の料金は買上商に應じて徵收し事毎に納入せしむる能はざるを以て每月十日迄に其の前月分を納めしむる事としたり

第四十條 賣店の貸付を受けたる商人は每月五日迄に其の月分の貸下料一區劃に付金十二圓を事務所に納入すべし

第四十一條 廣場を使用せんとするものは入場の際一區に付金十錢を納入すべし

小賣店一區劃は普通間口二間半奧行三間にして一箇月の料金十圓

▲乃至十五圓 なりとす、本條規に於ては其の中間を採用して十二圓としたり廣場は多數の區に分ち其の一區は約一坪を標準とすべし

第四十二條 倉庫に貨物を寄託せんとするものは左の料金を納入すべし

（一）普通貨物室 一ケ月六圓、十日間二圓五十錢、一日三十錢

（二）氷室 一ケ月二十五圓、十日間十圓、一日一圓二十錢

（三）溫室 同上

倉庫の第一目的は市場商品を安全に保管し凍結腐敗を防ぐに在りと雖も倉庫が其の用を爲すに足らざる時は賣場が如何に完備せりと雖も市場の

▲價値は半減 せらるゝ事と見るも不可なし況んや公設市場として半島の先驅を爲すものは特に倉庫を完全にして其の範を示さゞるべからず其の寄託料の如きも決して高きを貪らず確實なる收入を收むるの方法に出でざるべからず本條規定の料金は大連の料金を參考したるものなり（完）

◎本年麥作

昨年に比し增收

大正七年の麥作は播種當時降雨少く且つ秋冷頓に加はり十二月下旬氣溫急劇に下降し稀有の寒氣襲來したる爲め寒傷を被りたる地方尠からず而して春季氣溫著しく上昇したるも降雨少く旱天打續きたる爲め一般に生育を抑止せられたるが其後南部地方は四月下旬北部地方は五月中旬以降相當の降雨ありたるを以て生育大に進み一、二地方を除きては極めて良好の作柄を示せり今六月一日現在の作況に徵するに收穫豫想たる大麥は五百四十七萬二千八百九石、小麥百三十三萬九千五百一石にして前年實收高に比すれば大麥は三十九萬五千八百八十三石即ち七步八厘小麥は六萬一千八百六十六石即ち四分八厘の增收なり

▲各道別收穫豫想高

	大麥 石	小麥 石
京畿	四九一、三九二	一四一、一三六
忠北	三一一、六一九	五八、六七一
忠南	五一七、〇七七	八六、〇六〇
全北	三〇四、五〇〇	六一、七〇〇
全南	一、〇二四、三八七	一〇四、四〇七
慶北	一、〇五二、〇五九	一八四、四八二
慶南	九六九、一四六	一〇八、七九四
黃海	六九三、[illegible]	三六〇、九七六
平南	九四五、二二四	九三、〇五二
平北	六三三、三〇四	四三、三五三
江原	一七五、七二七	九六、二一七
咸南	一五八、〇一三	三七、六五五
咸北	二一、六九一	一、九九八
總計	五、四七二、八〇九	一、三三九、五〇一

▲大小麥收穫高累年對照

	大麥 石	小麥 石
大正元年	四、二八三、二四五	一、〇八九、四六一
二年	五、二三三、八〇五	一、二七〇、八九八
三年	四、六三一、三九五	一、二四二、五〇六
四年	五、一八二、一〇〇	一、二〇〇、五七五
五年	四、八〇一、二二〇	一、二四七、六三五
六年	五、〇七六、九二六	一、二七七、六三五
七年豫想高	五、四七二、八〇九	一、三三九、五〇一

◎殖銀の役員

朝鮮殖産銀行の役員は頭取一名理事三名以上監事二名以上と定められ頭取は殖銀を代表して事務を總理し理事は頭取を輔佐してその業務を分掌する事他の特殊銀行と同樣なり

◎鮮銀重役會議

鮮銀京城本店にては八日美濃部總裁三島木村片山三理事重役會議室に參集七日に引續き重役會議を開けり

◎鮮銀副總裁

鮮銀副總裁に決定したる嘉納德三郎氏は七日附依願免官となりしに付任命愈々近からん

◎判任見習合格者

去る四月總督府及び各道廳に於て施行されたる判任官見習試驗に合格したる者茂松重雄以下百三十八名は七日總督府官報を以て發表されたるが今之れを受驗地別にすれば左の如し

京府六十一名▲忠北 四名▲忠南 四名▲全北 五名▲全南 八名▲黃海 三名▲慶北 十名▲慶南 九名▲平北 五名▲江原 三名▲咸南 七名▲咸北 五名

◎楠瀨中將動靜

支那滿洲地方視察中なる楠瀨中將は目下大連旅順方面視察中なるが來る十一日奉天著十二日滯在十三日午前九時半發列車にて南下同日午後五時半著安六時半發にて京城に向ふ豫定なりと（安東）

◎轉任武官出發期

今回の陸軍異動により内地轉出となりたる諸氏の出發期日の左の如し

▲元軍司令部副官松原三等主計正及び第十九師團經理部員上島一等主計十一日午後八時龍山發▲元第十九師團經理部附鈴木主計步兵第七十八聯隊小村少佐軍司令部附戶田軍醫十二日午後八時龍山發▲第十九師團經理部員齋藤一等主計十三日午前八時龍山發▲元第十九師團參謀山崎少佐十八日午後八時龍山發▲元步兵第七十九聯隊梅村少佐第十九師團經理部員青井主計正十九日午後八時龍山發

◎鄉津檢事正檢閲

鄉津京城地方法院檢事正は境檢事同伴八日鍾路警察署に出張司法事務を檢閲せり

◎中野氏歡迎會

入京中なる元朝日新聞京城特派員中野正剛氏歡迎の爲め記者有志發起にて九日朝鮮ホテルに於て午餐會を催す可し記者以外の人にても參加希望者は同ホテルに申込まれ度く會費金三圓五十錢也

◎朝鮮及滿洲社の發展

朝鮮及滿洲社は業務の發展と同時に這回南山町一丁目に移轉せしに付七日夜同社樓上に於て創業當時よりの舊知等を招きて小宴を張れり

◎群山

▲商議入札 群山商業會議所にては會議所經營に係る西海岸埋築地千二百五十九坪の貸附競爭入札を五日午前九時より執行したり入札者は群山不二商業株式會社代表者林龜助、森菊五郎、半田渝吉、岩田宇之助、脇村正七氏等五名にして入札は即時開札の結果脇村正七氏の入札最高にて落札したるが脇村氏は神戶市有馬順三氏代理として入札したるものなるが有馬氏が右埋築地借受の目的は仁川に於ける三井精米工場丸十馬力精米機一式及び建物一切を讓受け其移築敷地に充つる計畫にて群山精米界に一勢力を加へたるものと云ふべく而して前記入札者中半田氏は京城天日常次郎氏の依囑入札を爲したるに不幸落札を見たるも天日氏も適當敷地を得て群山に精米工場設置の計畫あるやに聞けり

▲商議評議員會 群山商業會議所にては八日午後七時より議員總會を開催し大正六年度決算報告、同事務報告、議事規則、給規則、借款の件等を附議決定し引續き料亭花月に於て現議員任期滿了に付懇親會を催すべしと

◎木浦

▲海草取引高 五月中に於ける木浦海藻取扱數量並布十二萬八千百四十九斤此價格四萬五千五百六十九圓（最高百斤に付き四十一圓六十八錢最低同十一圓十三錢）天草一萬二千百一斤此價額二千百四十三圓銀杏草一萬八百二十四斤此價額二千百十一圓萬布千三百三十七斤價額百三十二圓（最高百斤に付き四十六圓）其他三千七百四十斤小海草四百十二五斤價額五萬一千二百二十八圓等にして合計十六萬六千五百十六錢にして追々盛時に近づきつゝあり

▲商議評議員會 木浦商業會議所にては五日評議員會を開き朝鮮麻尺統一の件を附議し中田書記長より書記長會議出席の報告及び木村會頭の新任挨拶あり

▲會頭挨拶 木村商業會議所會頭は新任挨拶の爲め四日道廳其他へ新任の挨拶をなせり

▲木浦驛成績 五月中に於ける木浦驛成績を聞くに乘車人員七千四百十二人料金九千二百五十三圓九十七錢車人員六千七百四十四人入場人二千四百四十八人にして客車收入計九千八百十二圓四錢貨車收入千七百四十一圓六十四錢總計一八千五百五十三圓六十八錢なる重なる積出荷は棉花、籾、海藻類にて米穀の積荷は著發共僅少なるものなりと

人事消息

▲釜屋六氏（總督府附武官）七日附總督府附仰付五十一日間の豫定を以て東京へ出張を命ぜらる

▲齋藤義夫氏（高級副官）同上

▲神田純一氏（秘書官）同上

▲中野正剛氏（東方時論主筆）八日午前入京不知火へ

▲岡田醫學博士 八日午前新義州より入京朝鮮ホテルへ

▲朴泳孝侯 八日朝鳥山へ

▲堀田千代田生命支配人 八日朝内地へ

▲鈴木□山地方法院長 八日朝入京巴城館へ

▲大村釜山地方法院檢事正 同上

▲佐藤直樹氏（東拓京城出張所長）九日午前八時四十分南大門驛發赴北の筈

月之初五、風月縱横樓主人邀飮酒三行、小童捧箋硯、主人乃拈筆、謾倣柏梁體、

風月縱橫人倚樓。　谷石
諸星枉駕任酬酬。　金陵
一觴一詠也風流。　桃監
南大門頭興悠悠。　如水
好句未成搔白頭。　學鷗
一酌早已掃吾愁。　谷石
客中爲客亦何求。　金陵
主人不知識倒闕。　桃後
熏風五月麥之秋。　如水
脫塵惹氣傲王侯。　學鷗

衣・更へ　＝捨てし衣の俄かに圓し衣更（靑萠）＝

◉京城公會堂（商議）併設の……贊否

□原案側は＝餘裕ある經濟時代に建設したい
◇目下の寄附金は約八萬圓に近い

■立案計畫が妥當でないといふ反對說
■目下その必要がないといふ無用說
■或時機迄の計畫縮少をいふ折衷說

京城商業會議所が其の事務所の新築計畫に伴ふ府公會堂併置の議に關しては屢々本紙の報ずる如くなるが本件に伴ふ寄附金問題の既に落着せるものは

◉總豫算 十三萬圓に對し朝鮮銀行、東拓會社、滿鐵管理局の各一萬圓宛、銀行其他會所に屬する十三法人よりの合計一萬二千五百圓にして商業會議所役員の三萬圓を合計漸く五萬二千五百圓を算せり而して尙ほ多數有力者實業家其の他の中には公會堂新築に對する諸種の意見を包持し贊否の說も嚮らざるもの、如し之れに關し會議所[illegible]書記長は語つて曰く

◆『公會堂新營計畫に對する諸名士の意見としては種々あるが要するに公會堂建設と言ふが如き問題が京城府民全般に密接な關係を持つて居るものである以上京城府尹と云ふ樣なものを會長若しくは建築に對する委員長に推し府の元老株有力者方面の代表者を設けて鳩首協議すべき問題で或る一局部の事務を扱つて居る商業會議所が初め之等の方面に何等の交涉なく

◉立案し計畫すると言ふ事は聊か一方に偏するといふ一種の反對議論がある即ち建設に關する會議所の手段手續きを非難さるゝものであつて之れは主に府の元老樣に依つて主張される所である之れは公會堂を全く前個に獨立して建設し樣と云ふ場合に起るべき非難で會議所事務所建設に際し幸ひ◆公會堂を併置して公共の利益を圖らうと計畫した結果初めからは設者の云ふ手段に出なかつたのである次は公開堂と云ふ者は日本でも大部の都市が未だ有しないものである大阪で此頃漸く竣成[illegible]に依つて[illegible]に屬する位なもので東京ですら之を有して居ない而かも京城に於ても公開堂を使用せねばならぬ樣な集合ひけ之れに代るべき朝鮮ホテルさか相當な料亭を控へて居るし講演等の場合には學校等が使用する事も出來るのであつて今日當つて其の必要は認められないと言ふ公會堂不必要を唱へる

◉反對論で ある之れは銀行集會所の一部の連中に依り主張されて居る。次は公會堂は吾が京城に於ても早晩痛烈に其の必要を感じ而かも總ての設備を完成し充分なる餘裕を具へたる公會堂の建設を必要とする時機が來るであらう即ち其れ迄の間に合せには完全たる公會堂出現の曉に會議所が其の事務所として持て餘し又は利用整理の途就き兼ぬる樣な中途半端な建物を設くるよりも幾分計畫を縮少して十年十五年後に完全な◆公會堂出現の上は之を商品の陳列所其他會議所が有效に利用し得る程度のものに止めて置き度いと言ふ穩かな一種の折衷說であつて一部實業家の主張さるゝ所である次は公會堂建設贊成論であつて東拓、鮮銀、滿鐵の主腦者に依り裏書せらるゝ所である即ち會議所が提唱しつゝある程度に於て時勢に適應せる公會堂を建設せよと主張するものである。要するに公會堂設置に就いての意見としては叙上の樣な種類に大別する事が出來るが

◉數年來の統計に據つて見ても京城に於ける講演會其他大小の會合數は著るしく增加の傾向を有し五百人千人の會合を必要とする場合の如きも頻出すべき時勢に在る而かも戰後の經濟とか云ふ方面から觀ても一般公共は多額の會費を投じてホテル料亭を利用する如き事不可能なると同時に大いに愼まねばならぬ事だと思ふ即ち

◇比較的餘裕ある目下の經濟時代に於て相當の公會堂を建設し置く事は眞に京城都市の公共を慮り幸ひ當會議所新築に際し公會堂を併存し普く府民諸君の用に供したならばと此の建築を提唱し大方の贊助を仰ぐ次第である……』と

◉常陸丸女給仕歸還　遭難の悲痛を語る

獨逸假裝巡洋艦ウオルフ號に擊沈されし常陸丸乘組の女給仕鯨岡雅子は七日朝神戶著の丹波丸にて歸還せるが其談に據れば常陸丸遭難の際は、先づ砲座を壞され次で無線電信機を破壞されたる由にて悲痛を極たる常陸丸最期の狀況を語りたり（大阪特電）

◉太刀洗に　四飛行大隊

近く新設の九州太刀洗飛行場には四個大隊の飛行隊を配備さるゝ由也（福岡電報）

◉日蝕觀望　京城では何處が一番好いか

◆朝寢坊しては駄目　九日の皆既日蝕は既報の通り東京府下の鳥島を除く其他の各地は部分蝕で京城仁川で↑食分七分二厘に達し太陽が三日月位に見ゆる京城では何處が一番よく觀望し得らるゝかと云ふと◆◆南山の絕頂にでも登れば申分ないが市中でも高い建物や物干竿からなら見られぬことはない相だ然し朝非常に早く午前五時十分の日出の時には既に二分七厘ばかり虧けて居り同四十分が食甚即ち蝕の頂上であるから朝寢坊をすると到底見られない夫に氣遣ひなのはこの頃の

◆◆天候 である何しろ雨期を前に控へて居るので空模樣は恰も猫の目の如く刻々に變る現に七日は一天拭ふが如き快晴であつたが八日は俄かに曇つて來た『幸ひにして當日天候が恢復すれば好いが今の模樣では何とも云はれぬ』と京城測候所では語つて居た

▽測候所も觀測 日蝕の觀測なぞは天文學上の仕事であるが京城測候所に於ては天候に故障のない限り備へ付けの望遠鏡を以て觀測する筈である

◉不埒な配達夫　信書を破棄して盜む

長崎縣南高來郡東有家村生れ京城南米倉町居住の增田國五郎（三）は元京城郵便局の集配人として從事中ポストより取り集めたる信書中小爲替券の封入しある分を拔き取り其の手紙は破棄し前後數回に亘り額面十八圓ばかりの爲替券を竊取し出歸目の氏名を認め僞造したる印章を押捺し龍山元町二丁目郵便所より騙取して生活費に使用したること發覺し本町警察署に逮捕され横領信書破棄郵便法違反詐欺で檢事局送り

◉必勝を期して……　全鮮各地碁客集る＝圍碁大會！

◇神妙奇手百出手に汗せしむべし　本社圍碁大會九日正午より開催

全鮮圍碁大會は愈々九日正午より本町二丁目梅の家に於て開催する事となりたるが京龍仁は言ふに及ばず平壤湖南大邱釜山等各地より續々申込みあり何れも◆◆必勝を期して寄々熱心なる練習をなしつゝ有れば當日の手合せは猛烈を極む可く期待されつゝあり

▽審判の嚴正を 大會には朝鮮に於ける權威たる可き碁客參會する事は社告の如くなるが審判員たる原檜七郎氏は三段にて仁川碁界の◆◆牛耳を握り山本壽氏も又三段にて京城倶樂部に在り伊藤、横山富之助の諸氏の初段を初め紀本龍太郎片山恆夫伊藤治平大久保雅彥の諸氏は既に定評ある人々なり

◆◆嚴正公明 なる審判を受けしむべく本社が以上の如き知名の碁客に依嘱したるは圍碁大會をして有終の美を濟さしむる所以なり且つ同氏等の手合せは神妙奇手百出人をして手に汗せしむる者ある可しとて各方面より多大の期待を以て迎へられ居れり

◉昌慶苑の奏樂（李王職洋樂隊）

九日日曜の午後一時より四時まで昌慶苑に於て左記曲目を奏すべし（雨天の際は中止）▲行進曲（フリードリヒ大帝の行進曲）▲[illegible]▲序曲（パレスタインの露營）▲歌劇（マルタ）▲行進曲（カイザー）▲行進曲スペイン人の[illegible]

◉河井氏上告棄却

大邱地方法院に於て朝鮮民報社長河井朝雄氏に對する詐欺事件は去る三月十九日大邱地方法院に於て懲役一年の判決を受けしを不服として大邱覆審法院に控訴せしも棄却となりたるより更に高等法院に上告せしも六月八日上告棄却となり一審の判決通りに確定せり

お伽巡禮（五）　涙光生

□永同□

◇初めて朝鮮をする十の出來た六日の十二時三十三分京城發列車にて永同に向ひ南下した◇小學校の先生方に迎へられて直に會場たる學校に向ふ、普通學校の生徒は讃歌の下で開場をまつて居る[illegible]諸氏、父兄諸合せて約五百名位、二席の講演をした[illegible]が面白くないので自分でも興味が湧かない、[illegible]は默つて居るけれ共、風はさらに吹かない、湧いて出るものは汗のみだ

◇一時間の講演を濟ませたのは三時直に辭して歸る、今日までの各地の講演が小學校兒童は普通學校の生徒よりもはるかに理解力が進んでゐて內地人と鮮人の相違點をこゝに見出す事が出來るのだと思つてゐたのに、また今日は何うした事か小學校兒童よりも普校側の理解力の進んでゐる事を見出した◇全鮮各地、交通不便な片舍の奥深く住んでる內地人はやはり何と云つても不幸である今日つく〴〵思つた、小學校長は[illegible]頃京城で客死したので目下永同には校長は缺員[illegible]

[illegible]送られて六時三分貨物列車の[illegible]に付けられた一輛の客車に乘つた、窓外金泉まで二時間をつひやす、窓外見るかぎり少し黃ばんだ麥の穗が今年の良き結實をほこり顏である小山の苗も初夏の故郷を思はせる[illegible]さんも今日はいさゝかホームシックをおこしてゐるやうだ。陽山陰に沒して電燈のない金泉の驛にはランプの火がまたいてゐた。小學校長に迎へられて陸橋を渡ると本社販賣店の立川氏も迎ひに出てゐられた

◇驛構外に出づれば直ぐ目に入る辻廣告は明日の講演會のそれである、當地一流といふ丸金旅館に入りて疲れを小ぎいセメント塗りの風呂に流し、大田で[illegible]アルコールシツプをなし、夕食をすめて今原稿を書いてゐるところ、これから歩路でまだ見ぬ可愛い私の友だちを見よう

◉素人角力

今回新町遊廓裏に新に開かれたる、土地の地固めの八、九、十の三日間同町新開地に於いて京城素人大相撲を興行すること、なりたり出場の素人力士は何れも京城龍山に於いて相當名あるものにし面白き勝負を見らるゝべしと思はる

運動界

▽鐵醫野球試合 九日午後三時より訓練院グランドに於て鐵道局對總督府醫院の野球試合あり因に鐵道局の野球團は今回新たに成れるものにて選手は何れも內地各高等工業の學校時代の選手にして其の『チーム』左の如し、

P	佐々木	
C	神	崎
1B	木	脇
2B	渡	邊
3B	新	保
SS	岩	屋
LF	永	松
CF	植	村
RF		東

▽三井對東醫庭球戰 三井物產京城支店の明治町テニスコートに於て九日午前九時より三井物產支店選手對東亞煙草會社選手の對抗試合あり又午後四時半よりは同じく三井支店對京城醫師會のテニス對抗戰ある由にて久しく三派とも白熱的練習を續けゐたれば定めし活氣を呈せん

▽鮮銀庭球部會 鮮銀庭球部會は九日午後一時同コートにて開催の筈

讀者文藝（一等には五十錢の賞物を呈す）

▲謎『奇術とかけて』
○江戶つ子の喧嘩と解く心は手が早い（一等）　京畿道利川邑內　脇井幸子
▲放蕩息子の財產相續と解く心は後見がむつかしい　義州　松月
▲[illegible]と解く心は手先でごまかす　鎭南浦　きの字
▲[illegible]と解く心は見て居る人目をごまかす　京城　多美子

婦人と小供

誘惑と夏の婦人（上）

■すべて人は自然に動かされ、殊に氣候に動かされるものであります、假令ば寒い北國の人は勇氣に富み、溫い南國の人は才智があると云つたやうに氣候の寒暖が人の思想や感情の上に及ぼす影響は決して少なくないのであります、就中內地でも朝鮮でも春から夏にかけての氣溫は熱帶地の熱さと違ひ■一種輕快な誠に肌觸りの好い情緒を持つて居ますから心を動かす事が一入痛切なものがあります而も之れに加ふるに婦人の服裝の如きでも日光を多く吸收する爲めの黑い地味な冬の衣類を棄て華やかで浮き浮きとし、そして白ッぽくて輕快な衣類を纏ふやうになるため、動もすれば■男の腦裡に强い刺戟を與へ、わけても夏の宵など、そゞろ歩きの婦人の派手な服裝が華やかな街燈の輝きに映じ月の光りに冴ねて見るからに艶な情緒を現はすもので、多くの老若俳人などの、この時季の歌や句となつて現はれ來るのを見ても一般に夏の宵が婦人を美しくさうして艶やかに見せるものがあるかを知られます■而して之れは云ふまでもなく氣候に動かされ氣候にふさはしい服裝を用ひたものでありますが、更に是と同時に男子も亦之れ等婦人の輕快な服裝に刺戟せられて婦人を誘惑しやうなどいふ猥らな心を起し易いものでありますから■婦人は決して油斷をしてはならないと思ひます一體人間の性慾は今では他の動物の如く一定の季節に依つて發酵するものではありませんけれど一部の學者達の云はるゝ如く文明が進歩せず人類の發達しない時代にあつては必ずその性慾が他の動物と同じやうに■春から夏にかけて盛んであつたに相違ないと思はれますが、人類が既に斯の如き本能を有するところから加へて婦人の服裝が春から夏にかけて華やかで男子の心を惹き付け色彩に富んでゐるのでありますから何うしても間違ひが起り易いわけであります

灯のもと

癩病患者を收容してゐる全南小鹿島の慈惠醫院長蟻川醫官の談に曰く▲蠅や蚊が總ての病毒を媒介することは言ふ迄もない小鹿島にもこの蠅や蚊が却々多いので或は他の健康者にアノ恐るべき病毒を傳染する虞れはないかと云ふ者がある▲尤も千萬な話しであるが癩病患者を收容して居る有毒地帶と健康地帶との間に非常な距離がある▲蠅や蚊の飛翔力は極めて弱く左右遠く迄飛ぶものでないから此點は頗る安心である▲のみならず患者自身の手當にも出來る丈の注意を拂つて居るから益々安心であるが▲然し吾々は有毒地帶に接近して居るので毒は必らず全身を包み夜は成可く外出しない事にして居る

商況

東京期米特電　二十五圓九十錢
兵庫期米　二十五圓九十錢　八十九錢
大阪株式特電　[illegible]
大阪三品特電　[illegible]
大阪期米特電　[illegible]
下關期米特電　[illegible]

雜報

◉綿糸布又不勢　[illegible]
大三米棉　[illegible]
綿布龍シー十圓
六十五錢三銘十圓六十七錢五厘
◉正米底强し　[illegible]
◉鐵類益高し　[illegible]
◉內地製粉軟弱　[illegible]
◉支那棉又軟弱　[illegible]
◉白米又弱し　[illegible]
◉支那粟好氣配　[illegible]
◉干瓢漸く持合　[illegible]
◉肥料糠稍見直す　[illegible]
◉下關相場　[illegible]

各地商況

◉群山正米六日の穀況　[illegible]
◉南大門の廻穀　[illegible]
◉仁川正米　[illegible]

釜山穀物（七日）

[illegible]

生魚市場

[illegible]

仁川期米

▲八日前場（强硬）大阪天候晴天 一節前寄二十五圓七十七錢と昨止より六錢高　[illegible]

⊕仲買店　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町　[illegible]

▲中限大解合　[illegible]　二十二圓七十錢に六萬石の大解合を見るに至つた　[illegible]

◉三巴仲買店　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　電話[illegible]

▲期米暴落反撥　[illegible]

市場雜觀

中限に一部の解合成立　[illegible]

仁川米豆取引所　八日の八月限

[illegible]

白米標準値　二十六圓七十錢

倉田仲買店　仁川本町　[illegible]

大阪期米　九十錢
仁川期米　先限一節二十二圓六十五錢六錢七錢八錢九錢七十錢[illegible]
仁川米豆取引所　八日の八月限　[illegible]
給船上陸客　七日午前[illegible]

□課題募集規定
□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚每に雅號又は匿名の外に住所氏名[illegible]

晴れ一時曇　[illegible]

京日紙上お伽講演

父を尋ねて

龍山　涙光

小銃の響遠ざかり。
後には蟲の聲立す。
吹き立つ風は凪ぐ。
紅染むる草の色。

篤志看護婦の一隊が遠く彼方の森の蔭に見ゑかくれして、戰場の悲しい眠つたやうに物靜かである、時々夢からでも覺まされたやうに遠くの方で小銃の音が聞ゑてゐる、燒けつくやうな眞夏の日光が照つて草も樹もみんな呼吸の音を止めて死んだやうだ

『お姉さん、最う美いちやんは足が痛くつてちつとも歩けないわ』金髮の波を肩にたゞよはして青い涼しい瞳をさも疲れたさうに見上げたのは九ツ位の可愛い少女であつた、ヴアイオリンを片手に、片手には姉と呼ばれた十四五の同じよく似た顏の乙女の手を取つてゐる、何處を見ても姉妹らしく見ゑるけれ共大きな乙女は、可愛相に涼しかるべき雨の瞳がつぶれてゐる、たしかに盲である

『あゝ、疲れたらうねえ、堪忍して頂戴よ、昨夜から何も食べないのだもの……ねえ』

つぶれた目から熱い涙の雨が降る

『あら、お姉さん、御免下さい、私獨りが疲れて私獨りがお腹がすいてるのでもないのに我儘言つて濟みませんわねえ、お姉さんは、お姉さんは目さへ見ゑないのに、それに、私が我儘を云ふなんて……』

妹の瞳からも玉のやうな涙が紅い頰を傳うて流れた

『あツお姉さん、向ふから看護婦さんがこちらに向いてゐらつしやるから私ヴアイオリンを彈きますから、お姉さん歌つて下さいねえ、パンのお錢が貰へるかも知れませんから』

と妹は涙を拭いて弓を取上げた

『ねゝ、歌ひませうとも』

看護婦は七八人連で通りかゝつた

靑葉の森に漂ひて
鐘なる寺の高塔は
櫃のせたる船に似て
啜り鳴きする波の音
かゝる日のなき夕まぐれ
母なき里の湖に
××××××
今はたゞ〳〵に新らしう
わきこそかへれ湖の
××××××
母はも彼處かの空の……

ヴアイオリンの音は啜り泣くやうに響いた、歌のリズムは亡き母を慕ふ眞心が美しい涙となつて、とぎれ〳〵聲を曇らせてはまた歌ひ續けた、看護婦達は白衣の袖を思はず絞らされた、歌曲が終ると、一人は進み出た

『あなたがたは姉妹なの？』

妹はとぎれ〳〵に次のやうに語つた、姉は聲を立てゝ泣いた、みんな並居る人達も共に泣いた、そして二人の哀れな姉妹に少々づゝの金を惠んでやつた

『ねゝ、有難う御座います、これは大切な大切な私のお姉さんで御

座います、皆さん、まあ一通り二人の身の上を聞いて下さいませ。今から丁度六年前この大戰が初まつて間もなくお父さんは、お母さんと、姉さんと私とをのこして從いて戰爭に出ておいでになりました、今まではお父さん一人で働いて、一家内を育つて下さいましたが、その後はお母さんと姉さんが他家のお家のお仕事をお手傳ひして私を學校へやつて下さいましたが、何を云ふても馴れない仕事、遂にはお母さんは御病氣になつてどつと床にお臥きなさつたので、こんどはお姉さんが只一人、朝早くから夜は遲くまで一生懸命で働いて下すつて、二人で毎夜の如く、『神樣、何卒お母樣のお生命をお助け下さいませ』と祈つた甲斐もなく去年の秋の終り頃、つひに……歸らぬ旅に私とお姉さんの手を握つたまゝ逝つてお了ひなさいました……二人は雨方の羽をもがれた小鳥のやうに泣いて泣いて泣き明しました、お姉さんは無理な仕事のお疲れと餘り悲しい出來事に夜も晝も泣き續けたために遂々こんなに生れも付かぬ盲目となりましたの……お父さんの御樣子はちつともわからず村でもみんなチリヂリに何處へか逃げて行きましたが、私達はせめてお父樣が生きてお出るものなればこの悲しい出來事をお知らせしやうと私はヴアイオリンを彈いてお姉さんが歌を歌つて雲をつかむやうな父の行方を搜して居るので御座います……』

幾度か鼻をつまらせては永い身の上を語つた、後でさめ〴〵と泣いてゐた盲目の姉は、手さぐりに妹の髮をなでながら

『この妹が、年も行かないのに盲目の私を親切によく慰めて呉れますので人樣のお袖にすがつてやつと戰場まで來は來ましたもの〻子供二人の……どうする事も出來ません……』

遠く離れてゐた小銃の音が次第々々に近づいて來た、看護婦達は涙を拭いて急ぎ彼方に走り去つた、陽は西の山端にその姿を沒せんとしてその殘光を二人の可憐な顏に

照らしてゐる、嗚呼二人の哀れな姉妹は父を尋ねて何處まで漂泊うて行くのだらう……（全篇の半ばにて）

美しき犧牲の女

一片の義俠心より遂に死刑の宣告
娘を助けんとせし老父まで危難

強記なる讀者は御存じであらう先々月上旬チタに於て日本僧侶二名過激派の爲に捕へられイルクツクの監獄に拘禁されたことがあつた、チタ在留の邦人は之に對して協議の結果、旅館業下宿業横田某の妻なるカプスチナ（三）と云ふ露國婦人が村岡某外一名の日本人と共に二僧侶を救ひ出しに行き通譯の朝鮮人某に賄賂を贈つた所が件の鮮人は賄賂の金を取り乍ら密かに過激兵士に密告したので此の露國婦人と村岡某等とは又もや捕縛されて其後の消息を聞かなかつたのである

所が此の義俠なる露國婦人カプスチナは遂に死刑の宣告を受けたのである、二三日前イルクツクから危險を冐して歸來した人の談によると死刑の宣告は受けたもの〻未だ死と云ふ怖ろしい魔の手は彼女の身の上に加はつて居ない事だけは確かであつた

けれども聽て來るべき

彼女の恐ろしい運命を知つた身内の者は今更の樣に驚愕し悶ゑたのも無理もあるまい、彼女の養父などは老の身をも厭はずイルクツクの未決監にカプスチナを訪はんとして、危ふく彼の地で彼も又獄窓裡の人とならうとして漸つと危險をチタ市に逃れ歸つた程である、斯の樣に焦慮してゐるのは只に身内の者ばかりで無い、密々或る者の手に依つて救助法を講ぜられつゝあるが

果して其の運命は

どうなるであらうか或は一命は助かるであらうと云ふ者がある、其の理由とする處は彼女の兄が今現にイルクツクの過激派に投じて活躍してゐる故、此の兄の手で何とか方法を廻したならば都合好き結果になるであらうと僅ない望みを掛けてゐるのであるが、果して美しい彼女の運命はどうなるであらうか或は彼女が獄に投ぜられた時

美しき彼女を冐した

腎臟炎が彼女の死刑を待たず來世にカプスチナを送りはせぬか何れにしても氣遣はしい次第であるとのことである（哈爾賓）

咸北と長馬

鹿毛と栗毛の產物點に多し

咸北道濟興郡は產馬地として古來有名にして一昨年來甲山銅鑛運搬用として搬出されしもの多きに拘はらず現在尙ほ千五百頭内外あり同郡地方は實に年々四百頭内外の產馬蕃殖力を有するに觀るも同郡が如何に馬の繁殖に適するやを推知しうべく元來同郡は至る處に草野展開して牧草繁茂し且つ清水の滾々として湧出し草と水とは隨處に之を得るを以て馬の飼育は頗る容易なるを以て產馬の獎勵地としては全鮮中濟興郡を措いて他に之れ以上の土地なかるべく而して濟興郡產の馬匹の價値は既に定評ありて同地方を視察せる陸軍側は勿論過般國境視察を爲したる

長谷川總督も

馬の飼育獎勵に就て良馬の多きを嘆賞せられたるが之れ同地方馬匹の古來より優良なるにも因らんが又た桑原長官の二三年來斯界改良の爲め力を盡されたる結果にして殊に政府が朝鮮馬匹調査費として三萬圓を計上し今回は淺川馬政局長官の來北して馬匹檢査を爲

都合に依ては

咸北道產馬を現地に於て實地檢查を爲さんとする計畫あるやに聞けり而して淺川長官の檢查すべき馬匹は過般來道廳吏員が同郡に出張し同郡の馬匹を檢查して優良なる馬匹百頭を選び更に之れより五十餘頭を精選し雄基に集合せしめて長官の檢查を請ふ筈なり尙ほ同郡產馬は盧毛、栗毛のものに優良馬多きも鹿毛の少きは軍隊用として不適なるもコワ交配に依りて改善するを得べしと（淸津）

宴會

槐翁

◎滿鐵理事長國澤新兵衞氏は、東上の途次、當地に立寄つたのを機會として、六日在京官民有志約二百名を、朝鮮ホテルに招待晩餐會を催ほし、懇親の意を表したのであつた。

◎此の晩餐會は、吾人の最も其の意を得ると共に、兎角形式に流れ易き世の、頂門の一針として賞讚せねばならぬ。而して予の此の說に共鳴するものが、一人にても有るならば、誠に欣幸に堪へない次第と謂はねばならぬ。

◎凡そ我が京城に於ても、何々會と稱せらるゝもの、開催さるゝものは、殆んど枚擧に遑ないと謂つてよい程である。此等の會は、常に主人側の鑄型的挨拶に始まり、來賓側の代表者が、同じく形式的答辭を述ぶるのが常である。◎尤も宴會の種類にも依ることであつて、隨分馬鹿らしく、形式を尊ぶことも無論なければならぬ。また形式其のものが、會の全體であつて、其の主旨に適ふ場合も、決して少なくはないのである。然しながら單に懇親の情を表する具合にも、一の鑄型的挨拶や答辭に、ウンザリせしめらるゝことの、決して少なくないのは、吾人が其經驗を常むる每に何とかしたいものだと思つて居つたことである。

◎國澤理事長の晩餐會にても、相變らず例に依つて例の如く、挨拶と答辭とが交換さるゝであらうと豫想して居つたが、宴益々佳境に入つて來ると、直ちに三鞭酒を取り上げることになつて、而して相互の健康は祝福されたのであつた而して挨拶も答辭も無かつたのである。是實に吾人の希望を事實の上に示したるものであつて、予は胸中窃かに快心に耐へなかつた。

◎大方の諸君よ。今後は、此種の會合には、此の國澤式を採用し以て形式の流弊を打破せば如何。

奉獻の鱈

成北產

近く長谷川總督より天皇陛下に奉獻すべく咸北道產鱈をも加ふる事となり道廳よりは淸津の水產製造業佐藤貞平に謹製方を依囑せるより同氏は道廳係員立會の上之を謹製し四日淸津出帆の翠丸にて道廳員附添の上京城に發送せり（淸津）

圍碁大會開催

（九日正午開會　會場は梅の家）

◇會費は金貳圓五拾錢◇當日御持參の事◇會員各位の晩餐は酒、麥酒の飲料を添へ主催社より提供◇入會希望の方は住所、氏名明記の上、日迄に著する樣◇京城日報社

營業局内全鮮圍碁大會係◇南大門通（小杉組裏）山平壽◇明治町二丁目紀本龍太郎兩氏宅宛◇賞品は◇壹等時計◇貳等銀洋盃◇參等反物◇四等以下貳拾等迄贈呈

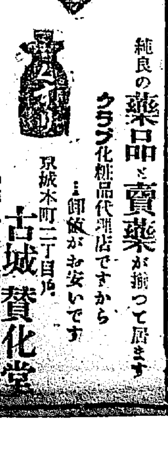
眼病ならば

眼病の藥と言へば先第一に大學目藥と言ふ事になつて居る、夫れは言ふまでもない藥效の優れて居るからである、大學目藥は醫學、藥學の大家の不斷の研究に成り臨床上にも充分の自信を得たもので、其製造技能は最善を盡してある、然れば赤道直下の酷熱地にも、北極近き寒地にても巧妙に治療上の偉效を顯はして居る而して此大學目藥は如何はしい沈澱物などの無い事を見定め易いやうに透明たる瓶に入れて一葉のレッテルさへも態と貼つてない、之を見ても調劑の上に技術の優れて居る事が分るのである

其上藥瓶に添へてある點眼器も冷熱に弱いゴムの如きものは使用はず、冷熱、乾濕、藥液にも侵されぬ特許の彈附點眼器で、又包裝の如きも特許權を得たもので決して他人の模造を許さない事になつて居る斯して大學目藥は種々の特許を得て居るから藥劑に至つても注意の行届いて居る事は申すまでもない、最も其製劑高の巨額なる事も全國に於て拔群である、然れば外國へ輸出する高も比類なき多額で、一度外國へ足を踏入れた諸君は其異數の發展に驚いて居られる程の事である

效能　はやり目、トラホーム、星目、かすみ目、たゞれ目、こり目、血目、其他炎性諸症

大阪北濱　合資會社　參天堂藥房　電話本局長一二〇四　一二〇五



純良の藥品と賣藥が揃つて居ます　クラブ化粧品代理店ですから御値がお安いです　京城本町二丁目　古城贊化堂　電話一〇二番　振替七三七番

內科　小兒科　皮梅科　外科一般　婦人病　花柳病　京城黃金町二丁目（長橋通角）　診療　朝鮮病院（入院隨意）（電話二八三七番）

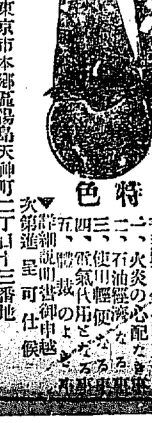
新荷著（目錄贈呈）　京城本町二丁目二十九番地　山葉樂器朝鮮代理店　販賣元　釘本樂器部　電話一二八三番

臨床醫家に告ぐ　絕對無痛注射療法　橫痃注射藥　ヂボリン

本注射藥はテルピンのアルコール誘導體にヨードを化合せしめて製出したる一新化合體ヨヂフオールを植物性脂肪に溶解せしめたるものなれば特に肋膜並に淋巴腺結核に對し偉效を有し之を局所に注射すれば膿瘍は吸收せられ治癒の轉歸をとる　本劑は無痛性にして使用極めて簡便なり。說明書は醫家に限り送呈

定價六管入（一管一cc）金貳圓五十錢送料八錢

發賣元　大阪市北區富田町十五番地　博友堂藥品部　電話長東貳〇六六番　振替口座大阪一六八〇八番



明光ランプ

特色　一、火炎の心配なき　二、石油經濟なる　三、使用輕便なる　四、電氣代用となる　五、體裁のよき　▼詳細說明書御申越次第進呈可仕候

眞鍮製　金二圓五十錢　普通製　金一圓五十錢

東京市本鄕區湯島天神町二丁目十三番地　製造發賣元　明光ランプ合資會社　電話下谷七二七二　振替東京三六八三九番

販賣店歡迎

京城本町一丁目江戶川橫　岡本齒科醫院

白檀油代用藥　ゴノサルビン　優秀卓絕價格低廉

效果的確にして消化器障碍なく純內國產なれば價格從て低廉也　白檀油大暴騰

大阪市外中津町光立寺　發賣元　三友製藥合名會社　大阪道修町　武田長兵衞　東京本町　小西新兵衞　文獻見本醫家に限り本社より進呈

外科花柳病　內科婦人病　入院隨意　醫學士　齋　勇　醫士　齋　豐次　京城本町五丁目稻荷座前　大和病院　電話二〇一二番

塚原卜傳

第百席　悟道軒圓玉口演

念佛躍りの大衆に紛れ入つたる老女お伊登が花笠眉深に被り群集と共に躍り狂ひながら長慶に近寄らんと思ひましたが却々大勢の家來も居る事とて何れが其人なるか知れず、只管長慶を見出さんと目も放たず堂上を見詰めて居ります。然るに時刻移つて暮六ツ時となり長慶は城の用意を左右に命じ、座を起つて堂を下らんとする、左右には臣下の面々十二三人附隨がひ小姓は太刀を執つて後に附添ひ階を下つて來た、三好長慶とは見忘れなけれど一目で知れる其の姿、之れこそ父玉井掃部の仇と女の一心、お伊登は念佛躍りの大衆の中より走り出で、階下へ近付くと長慶を目懸け『伊』父の敵ツ』と一聲叫ぶが否、短刀を拔放つて一突きと飛懸つた、不意を討たれて長慶アツと驚いたが早くも身を轉し『長』長慶に對して敵呼はり奇怪極何者なるか召捕れ○『ハツ』といふより近臣バラ〳〵と取卷いて捕へんとする、お伊登は一生懸命抜けつ潜りつ女ながらも一心籠めたる念力其太刀先鋭どく近臣も容易に無手では近寄れぬと見て各々が一刀拔放つて斬倒さんと騷ぎ立つ長慶も小姓の持つたる一刀を手に執り階の中央に突立つて油斷なく八方に眼を配つて控へたる有樣、ならぬ騒動に念佛躍りの面々は狼狽へ往へ散亂して堂上を下へと大騒動と相成りましたが、何をいふにも一人の女、見る〳〵中に一刀を打ち落され、二三人の家來が飛掛つて捻倒し既に縛めんとする時早く右往左往に混亂する數多の男女を左右へ蹴散し、一散に乘込み來つたる五人の勇士、之乃ち塚原小太郎勝義を初め山名京極及び上杉家の豪傑鬼小島彌太郎、鐵上野介等の人々であります。而も振らず飛込んで來て三好の家來を右と左りへ斬つて落す、中にも鬼小島彌太郎、手馴れし鐵棒押取つて『不忠の逆賊三好長慶、天に代つて一忠が一棒の下に打殺して呉れる、覺悟をせよ』と飛掛る、スハ曲者ぞと警固の面々十重廿重と取卷いて防ぎ戰ふを推參なりと彌太郎一忠、棒を持つて横薙ぎに引拂ふ、大力の鬼小島に引拂はれては堪らない一拂ひに五人十人を打殺す、鐵上野介も天秤棒のやうな强刀を揮廻してバッタ〳〵と斬つて落す、山名京極の兩人も劔道無双の名人之れも四角八面に薙立てる、長慶大いに驚いて『長』コワ一大事』と堂内へ身を隱さんとする處へ疾風の如く走り來つた小太郎勝義、『小』ヤア長慶何國へ逃げるか最早天誅免れ難し、觀念して刄を受けよや』と呼はつて只一打と飛上る、長慶小太郎をハタと睨んで『長』推參なる曲者かな、抑も汝等何者なれば此長慶に向つて逆賊呼はり、奇怪至極の擧動なり、本名名乘れ何者なるぞ』小太郎笑つて『小』我こそは常州塚原の城主塚原勝重の次男塚原小太郎勝義、將軍を殺し暴威を揮ふ三好長慶、天に代つて誅伐せんため、上杉公の命を受け遙々之れまで來つたり、今こそ報ふ天の冥罰、逃れぬ所と觀念して潔よく刑に就け』と大音に罵りながら眞向より二ツになれと斬込んだる一刀、辛くも身を轉しあなたお酌と座を立つ拍子（京城明治町 電二八七〇）木村屋アンパンコロ〳〵とて一刀引拔きガッキと受け『長』言はれなき汝等の腕立て、年老ひたれども長慶ほどの古武者が如何で汝等の手に掛らんや、無用の殺生に似たれどもイデ〳〵入道が刄の錆となし呉れん』と烈しき小太郎の切尖きを右と左りと受流して五六合斬結んだるは却々長慶も侮どり難き技倆であります、大勢の家來は主人の身上の大事と氣は逸れど四人の勇士に斬立てられて近寄り得ず、アレよ〳〵と叫ぶ中、小太郎怒つて一喝叫ぶと等しく躍上つて打下したる國吉の一刀、三吉長慶が眞向より鼻柱へ掛け血煙り立つて割付けた。

暦

六月十日九星　舊五月二日戊子　本命三碧　東　破　亥　口

▲三碧● 大凶のバレル事有日新事見合 坤の方は、喧嘩東▲四綠●● 凶並の日新事入門求職名並命件行商採鉱の種製糸薬等吉▲五黄●● 楔のきかぬ事有日新事手控昇事は一切のせわ事を禁ず▲六白●● 謹の日新事手控昇事は吉衞生に注意せらるべし▲七赤●● 一寸あと戻りする事有日新事手控當の事は侵され損の事有往　事手控昇事は妨なし▲八●● 富貴の日轉居商業入門名弘求職移轉上命件婚禮證券薬等吉▲一白●● 利運の日轉居行商入學命件建築出　漁求職婚禮入組の和合新進▲九紫●● 叶ふる等萬吉▲二黑●● 女難小盜用心の日新事手控移轉は吉保證連帶抔を禁ず

演藝案内

櫻井町　大正館
電話八七三

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

當る六月七日より大寫眞提供

▲米國キーストン會社作品　伊太利三湖水

◎滑稽活劇『當て違ひ』全二卷

▲日活向島尾上松之助一座出演

◎舊劇立志美談『五郎正宗孝子錄』

[illegible]

◎探偵活劇『鐵の箱』七千呎

▲英國バイオニーア會社秀作

◎山本嘉一、五月、信夫合同一派

新派大悲劇『女の誓ひ』全三卷

[illegible]

有樂館

活動寫眞常設館　京城本町一丁目

當る六月六日より十日迄五日間限り特別公開

米國ユニヴァーサル會社ブリウバード大會

第一回ブリウバード映畫

◎社會劇『文身美人』全五卷

[illegible]

◎米國エヴァーサル會社

戰場美譚『勇敢なる喇叭卒』五卷

◎米國ユニヴァーサル會社作

教訓劇『クリスマス・カロル』五卷

[illegible]

黄金館

電話二三六三　二六六

當る六月八日より特別興行

▲新派悲劇『血染』撮影全四卷

▲舊劇宮本武藏全四卷

▲第六回ミラの秘密

▲新派悲劇『血染』、撮影『全四卷

[illegible]

浪花館

明治町二丁目　電話二六〇番

六月九日より開演

京阪落語々樂會一行

▲落語(小遊)▲落語おどり(遊玉)▲落語手踊(遊生)▲落語滑稽浪花節(笑三)▲落語音曲(右圓遊)▲大切喜劇(惣出)

京城壽座

電話五七八番　町

日本歌劇協會一行

[illegible]

▲歌劇『女軍人出征』一場
△翻譯歌劇『暗の家』三場
△喜歌劇『血の樣な椿』一場
▲諷刺劇『良人』一場

縞セル

一反只の二圓卅錢

東京市日本橋區本石町一丁目呉服問屋關谷商店にて今回三千有余反の縞セル地を買取たるが品質は新進なる上等品なるも都合上只今の如き捨直段にて一反タ乙號二圓三十錢甲號三圓三十錢別製品五圓三十錢と云ふ法外の安値にて賣始めたが一圓以上の本セルと何等撰ぶなき新柄セル地なれば忽ち無くなる事と見て日々多數に賣れ行きつゝあり且つ同店は地方部を設置して新らたに百反、一反の注文毎に一個宛無代進呈す云ふ因に希望者は懇切に見計らひ送るとの事

りん病

消渇の困ったる手切方消人に助けに

三錢送れ多年の慢性も自宅にて人知れず秘密に治す妙藥を無代でお教へ致し升

名古屋市南かしやり町　武藤亀吉

ロート目藥

五十錢　廿五錢　十五錢

拂下公告

一、牛血壹萬頭分
右來ル六月十五日午前十一時入札
ス希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ

京城府

大阪府堺市

醸造發賣元　肥塚源次郎

醇良清酒

京城本町二丁目　電話長二九番

特約販賣店　佐藤牧太郎

李王職御用

模範牛乳

石鹸 洗粉　ニウソ

主導　肥塚正太

京城蓬莱町四丁目

東亞牧場

電話五二番

株式會社　朝鮮商業銀行

資本金　壹百萬圓

諸積立金　參十一萬五百圓

京城南大門通一丁目

電話五五八、一〇一六、一三四七番

振替京城一六八、三二四番

一般銀行業

倉庫業

銀行長　趙鎭泰

支配人　豊田明敬

南大門支店　電話一七〇二番　振替一六〇六番

本町支店　電話二五八番

仁川支店　電話一〇六番

平澤支店　電話五七番

群山支店　電話二八一番

東大門出張所

名聲斯界に赫々たる世界の名酒

ヘルメス

家庭用　旅行用　二種あり

本品は醸造後永年貯藏熟製したる香りと口當りのよい逸品!!

代理店　大阪東區安土町　祭原伊太郎

一番よくきく

いちばん

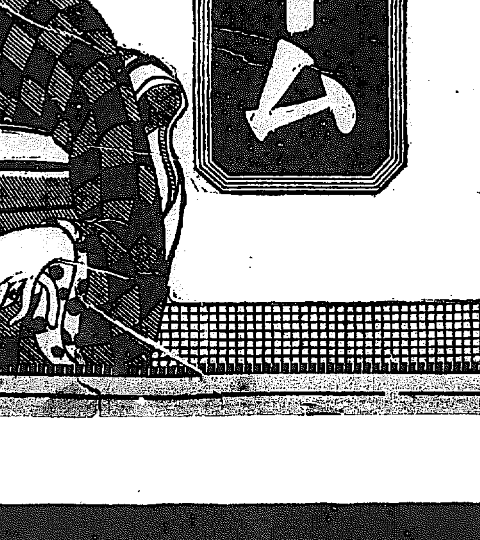
日ヤケ止は

クラブ洗粉本店謹製の

クラブ美身クリーム

皇后宮職御用品

此のクラブ美身クリームは素顔の美を増し白粉の附を良くする品質第一のアレ、日ヤケ止にして畏くも皇后宮職御用品たるの光榮を辱うしつゝあり。



特殊創案　自働インキ含裝置『パインビジネス』ペン

米國製十四金ペン正

定價　金壹圓九十五錢

進歩的經濟的文房具の需要に加はり平常使用の『ペン』先に金製のものを使用するの最も適切なるは言を俟ず、而して此の金『ペン』先を裝する軸エボナイト製に到りては唯あるのみ尚装置せし『パインビジネス』ペンの背後に密接する特殊創案の嵌入物によりて金ペン先の耐久力が期せらるゝのみならず一度『インキ』を含ますれば宜く數頁の使用に耐ゆる頗る理想的の高等文具にして各銀行、會社、官廳より御用陸續たり

賣捌元　京城太平通　振替三〇〇番

京城日報社代理部

[illegible]

京城日報

第五版

六月九日朝刊　(朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價　壹部參錢●壹ケ月七拾五錢●郵送料前金●六ケ月四圓五拾錢●壹ケ年前金八圓●郵券代用八二割増

廣告料金　▲五號十五字詰一行一圓八十錢▲二號七字詰一行一圓六十錢▲三號十字詰一行一圓四十錢▲四號十字詰一行二十錢▲六號廿字詰八十錢

發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介

發行所　京城太平通一丁目　京城日報社　電話編輯二〇〇番・營業五六番・振替京城二一三番

[illegible]大阪七十七錢その後[illegible]
寄附　二六、四〇　二五、八八　二五、五八
高値　二一　二五、八八　二五、六二
安値　二一　二五、八二　二五、五八
止め　　　　　　二五、六二

[illegible]錢を押し五錢と打止めたり

△當限出來不申
△中限一節二十二圓八十三錢二節

七錢六錢五錢六錢四節七十五錢六錢五錢四錢五錢四錢五錢四錢五錢六錢五錢

[illegible]管理外米の賣出は政府の[illegible]多額なる爲販賣價格の[illegible]價なるに人氣を集め買受申込者多數に上り[illegible]は大都市にては財界の好況により勞働者等も收入多きに依り贅澤となり居れる爲め賣行き少きも之[illegible]滯なく田舍に[illegible]一部尺土の間に外米品切の風評を生みたるものなるが其は全然根據[illegible]迎を受けつゝあれば今後間斷なく供給さるゝに於ては喰ひ慣るゝに從ひ一般の需要を喚起すべし[illegible]の正貨總額は十一億七千九百萬圓にして之を去る五月十日現在の十一億三千七百圓に比すれば四千[illegible]恐威併び施すに便なる結果、遂に此恐るべき情形を致せり。

海內　四[illegible]
海外　七三[illegible]

巴里市民樂觀
中央突破は難事

其後の情報に依れば最近獨軍は主攻撃をノアイヨン、サンドチリー線に轉じ

▽巴里を目標　としてヴィレルコッテレ方面に進出せんと努めつゝあり五月廿七日攻勢開始以來決河の勢ひを以てマルヌ河の線に達せる獨軍は佛軍豫備隊の到着參戰と一面マルヌ河の線が自然的防禦を形成し向後の進出困難なるのみならず此方面に於て戰線を中斷せんと亦至難なる事情あるを以て其主攻撃を前記ノアイヨン、サンドチリーの線に轉せるは

▽當然の結果　にして獨軍當初の目的も亦此處に存せしもの如く畢竟マルヌ河に對する中央軍の進撃は巴里街道に進出せんとする豫備的作戰たりしに外ならず從つて佛軍豫備隊がマルヌ河の線よりも寧ろノアイヨン、サンドチリー間に多く配備されたるはフオツク元帥が豫め獨軍の企圖を看破せる結果にして現に獨軍が日來此方面に多大の努力を拂ひつゝあるに拘らず戰局の發展中央部面に比し遲々たる者あるは一に是等の關係に基由せる者と謂ふ可し元來西部戰線の如き殆ど要塞的陣地に於て一舉に戰線を突破中斷するの不可能なるは過去第一次(アミアン正面)及び第二次(イープル方面)攻撃に依りて明かなり如何に化學を應用するも現代戰術に於ては中央突破に依り敵を二分して之を殲滅するといふが如きは

▽到底不可能　の事に屬せり即ち獨軍が第一次攻勢に於てアミアン正面に約廿五哩を進出し次で第二次攻勢に依てイープル方面に約十哩を進出し續いて今次の第三次攻勢に於て約廿五哩の進出を爲したるは防備の薄弱なる地點に突出して戰線を波狀形とし以て其凹部を後退せしめ茲に全線の進出を行はんとする者にして一時に全線の進出を行はんとする如きは固より容易に非ず從つて目下獨軍の戰線より巴里迄の距離は

▽僅十七里餘　を隔つるに過ぎざるも巴里市民が何等の動搖を來さず平然業務に從事し居れる如きは市民がフオツク總司令官を深く信頼せる而已ならず一は獨軍の進出容易ならざるものあるを知悉せるに因らずんばあらず要之獨軍はノアイヨン、サンドチリー間に主力を集結し佛軍亦豫備隊を此方面に增加して極力其前進を阻止せんとするもの如く同方面今後の戰況は或は激烈なる發展を見るやも計られず

▽尚近著電報　に依れば獨軍の前進は全然阻止されたりとあるも右は恐らくマルヌ河方面の事なるべく前記局面は到底此儘靜止すべからざる狀勢にあり(六日東京)

馬匹の改良に就て(六)
於銀行集會所　淺川中將講演

馬券は社團法人の名前を以て發賣し賣高の一割を收入としたもので大都會に於ては馬券の賣上高が

▽一日百萬圓　に達した事があるから法人は十萬圓の收入を得一期に四日間競馬を行ふとすれば四十萬圓の收入がある譯である然るに其の法人の後ろに營利會社があつて大分其の利益を吸收するので、世間の物議を釀し、遂に馬券は禁止せらるゝに至つた。仍つて政府は法人に補助金を與へて、從來の設備を買收させた。そこで今日に於ては營利會社は全く其の姿を止めず純然たる社團法人となつたから、漸く世間の非難がなくなつた譯である。競馬に對する第二の非難は馬券を一人で百枚も二百枚も買ふ事である、元來勝負事には何か物を賭けると云ふ事は得て伴ふもので子供が骨牌を爲るにしても

▽蜜柑や菓子　を賭ける所から何度も繰返すと同じ樣に何かそこに印がある刺戟を受けて興味を覺ゆる。即ち競馬に於ても何かそこに印があると思はず始めから終まで見て馬の味を知ると云ふ事になる。それならば馬券は一人で一枚買ふたなら澤山で、百枚も二百枚も買ふと云ふに至つては賭博の區域を超脫して純然たる博奕になつて仕舞ふ。之が世間より非難の起る點であるが、第一の營利會社は最早無いのであるから、今日問題は起らない。第二の非難に就いては一人で何枚もの

▽馬券を買得　ない事にしたならどうか。假令一枚でも投心を挑發する弊害があると云ふかも知れないが、其の弊害たるや僅微なものであらうし、又其の僅微な弊害の爲に他の大利益を犧牲にする譯には行かないと思ふ。大體右樣の主義に於て議會に提案したら何うかと色々研究して居る。京城に於ても乘馬會員の御盡力に依つて俱樂部の發展は勿論の事他日朝鮮各地に競馬の行はれる樣夫々の御研究を願ひ度い。之を要するに馬事思想の普及は馬匹改良上最先の急務であり、而して馬事思想は營利關係の競馬の方面よりも趣味即ら

▽乘馬の方面　より注入するが、捷徑であらうと考へる。今日は甚だ纏まらないお話を致しまして御清聽を汚した段感謝致します(本社特派記者赤根屋友三郎氏速記完)

獨逸の產業並に商權擴張策(六)
賀田直治

植民政策(十二)

以上に依り獨逸の植民政策は未だ容易に其の目的を達するには至らざりき。只膠州灣に於ける植民的經營は、獨逸植民地中最も十分なる努力を拂ひたるものとす。左に其梗概を列記すべし

●獨逸の膠州灣占領に關する政策●(青島守備軍司令部調査抄錄)

獨逸に於ては、年々人口の增加と工業勃興との結果、熾烈なる海外發展の精神を誘致し遂に所謂世界政策なるものの唱導せらるゝに至りたりと雖も、而かも未だ好個の植民的領域を獲るに至らず、於是乎東洋に有力なる根據地を得て、以て確實なる海外發展を爲さんと欲し、千八百六十九年リヒトホーフエンを派遣して支那內地の調査を行はしめ、次で千八百九十六年其督は、リヒトホーフエンの調査を基礎として、自ら膠州灣の經濟的及び軍事的價値を精査し、翌千八百九十七年には、築港技師グオルギフランチウスをして、更に港灣修築の可否を調査せしめ、是等の報告を綜合したる結果、膠州灣を以て東洋に於ける獨逸の根據地となすに決し、遂に千八百九十七年十一月一日山東省曹州府に於ける宣教師殺害事件を口實とし、獨逸の巡洋艦をして膠州灣一帶の地を占領せしめ、且支那政府に對して強硬なる談判を開き、翌千八百九十八年三月北京に於て獨支條約を締結し、以て、正式に膠州灣租借權を得るに至れり。抑も獨逸は東洋方面に於ける根據地として、初めは三都澳、舟山列島の地を卜したりと雖も、該地方に於ける英國勢力の爲に其の意を果たさざりしものにして、膠州灣の占領により其の最後の目的を達し得たるものなり。從つて其膠州灣に對する所極めて大且つ熾烈にして、膠州灣は又事實獨逸植民地中最も重要部分なりしなり。されば事實に於て獨逸は植民地を有せずと稱して可なり。但し獨り膠州灣に於ては然らずして、獨逸の植民政策中最も重要部分なるを見る。蓋し膠州灣租借地は、獨逸の植民地中地域最も狹少にして之れを東阿弗利加の九十九萬五千平方粁の廣大なるに比するに、總に五百五十二平方粁に過ぎざるも、其海陸の交通便利にして、勞働力に富み生產、購買力亦豐かにして、農商業上に必要なる各種條件を具備し殊に將來利源開發の爲めには最も有望にして、大に世界的飛躍を試むるに適せる地理上の利便を有すればなり。即ち獨逸は膠州の租借によりて、東洋に於ける有力の商業的根據地を得たるのみならず、又支那に對する發言權を掌握し、而して從前支那に對して發言權を有せしものは、我國の外、英、佛二國に止まりしと雖も、日清戰爭後に於ては、更に獨、露の二國を加へ、殊に獨逸は數十年の後進を以て、能く英國の支那に於ける政治的勢力に拮抗するを得たり。是れ即ち英、獨各本國の勢力消長に因由する所大なりしと雖も、英國の對支根據地が香港にありて北京を距ること遠きに反し、獨逸の對支根據地たる青島が、支那の中腹を衝きて直ちに北京に對し、從つて支那政府及び國民に對し、

並行線　三
瀧閑村

『火事ですよ、火事ですよ、池谷さん。』

宜太郞は間も無く斯う呼起された。夜半の寢寢を破つて遠く半鐘が鳴つてゐる。

『何處だ。』

『さア何處だか、遠いには遠いやうですがね……。』

そこへ下婢が來た。

『主婦さん、火事は雞島ですつて……。』

『何、雞島?。』

宜太郞は彈かれたやうに跳起きた。雨戸を繰つて見ると其方の空が赤い。雨戸の隙から三月初めの夜半の冷氣は宜太郞の身に迫つた。

『大變だ、車を一臺呼んで下さい大急ぎ。』

宜太郞は慌てゝ仕度をした。若しやと思ふと全身がガタ〳〵顫へた。

車へ飛乘つて行く途中も、宜太郞は赤くなつたり青くなつたりした。雞島だつて自分の工場のみでは無い、何をそんなに慌てたり、心配したりする者があるものかと自分を叱つて見ても、後から〳〵と苦い氣持が胸の底からムク〳〵と湧上つて來た。母衣を透して火が大きくなつたり小さくなつたりして行くのを見乍ら、色々に案じ煩つた。

『失敗つた!。』

車を降りると宜太郞は無茶苦茶に驅出した。火事は自分の會社だつた。

『危い〳〵。』

グイと袖を摑んで引戻された。それは社長の山本だつた。

『あゝ山本さん。』

『池谷さん。』

二人とも他に言ふべき事を知らなかつた。

會社工場は全く燒けてしまつた。燃ゆ得べきものは悉く燃えてしまつた。消防に立働く人々の黑い影がはつきり見ゐる程、眞赤に燃えてしまつた。工場も機械も倉庫も事務所も何の區別も境も無く一舐に舐め盡されてしまつた。そこには煙突と、石門のみが殘つた。これが昨日盛んに開場式を行つた會社か、と思ふと宜太郞は何が何やら判らなくなつた、口惜しいのか、腹立たしいのか、悲しいのか、ブル〳〵顫へ乍ら、棒の如くに突立つてゐた、兩手を堅く握め乍ら。

『仕方が無い、仕方が無い。』と山本社長は無闇に首を振つてゐた。

消防の人々が加はつて火は次第に衰へて行つた。白い煙、黑い煙がズ〳〵と起つた。滯のやうに流れる水、投出されたもの、破片、焦げる臭ひの狼藉たる中に、夜はだん〳〵と剝げて、東の空から朝が近づいて來た。

『先刻から突立つてやがつて邪魔だなア。』と消防の一人は宜太郞を見て斯う罵つた。それも耳に入らぬさまに、宜太郞はポンヤリと佇立してゐた。

そこへ高山が來たが、悲しげに眼を合せただけで何も言はなかつた、否言へなかつたのだ。

送西村秋湖之覲城　兒島　九皋

漢陽未見百花生。御駕春風向帝城。詩酒如今與誰樂。離杯欲酌不勝情。

同　大田　水鈴

回首追送淚水涯。今宵主客舉杯遲。漢陽城外月光冷。欲賦未成離別詩。

同　中西　古竹

詩襟時淚雨難晴。三月春風萬感生。漢水西流君北去。人間不耐別離情。

同　內田　六剛

離亭把酒送君行。楊柳依依不耐情。別恨新愁詩未就。風催燭淚夜三更。

同　茂泉　鴻堂

春風一路向箕城。那得俱聞黃鳥鳴。今日送君談笑裏。丈夫不道別離情。

同　田淵　黍州

牡丹臺倚泪江濱。山色水光正絕隣。羨爾優遊攜詩硯。詩成誇示舊知人。

同　竹田　蕉雨

管鮑多年契弟兄。春風忽地促君行。同人酌酒杯浮淚。三疊不堪歌渭城。

同　藤倉　藤陰

提攜七載弟兼兄。忽聽遷喬黃鳥鳴。三月春風吹到處。漢陽草木不堪情。

同　江原　如水

箕都春色逆君開。楊柳滿城鶯語催。征馬不留長短驛。快鞭直向牡丹臺。

留別　西村　秋湖

如今知己果誰人。征馬不前啼鳥頻。柳色依依漢江畔。不堪細雨浥衣塵。

李太王殿下　御用品

白純　人蔘エキス　蔘良製

○白蔘ヲ原料トセル人蔘エキス(金褐色ニシテ紅蔘ト同色ナリ)能力強ク苦味中ニ甘味ヲ加ヘ風味佳良ナリ
○黑色ノ人蔘エキスハ多ク尾蔘ヲ原料トシ苦味多く風味皆無ナリ

御注意　本劑ハ高價藥ニシテ其ノ品質ニ太タ差等アリ購求ニ際シ御撰擇アレ　見本及說明書進呈ス

定價表		
容量	上製品	特製品
十日分	一圓	一圓五十錢
二十日分	一圓八十錢	二圓八十錢
四十日分	三圓二十錢	五圓二十錢

京城府南大門內正面　朝鮮人蔘製劑所　電話三〇一〇番・振替京城四四九四番

◇近代の大偉人福翁の遺せる獨立自尊の眞諦を讀め　十餘年來の本篇は不朽の價値愈々現る
福澤諭吉先生遺訓　新刊　獨立のすゝめ
獨立自尊を絕叫せる本書は諸君が立身成功の鍵也
明治文明の先覺者福澤先生常に獨立自尊主義の精神を說き子弟を薰育す、今其訓に依て身を立て朝野に鬩を稱するもの誠に多し即ち本書は先生が後進子弟の爲に說かれたる獨立自尊の眞諦也之を讀む者何人か自己の社會行路に一道の赫灼たる光明を認めざる者あらん本篇久く世人渴望の的たりしもの今漸く成りて世に出づ實に本書は國民一般の敎科書として日常必讀すべき寶典也
三六判上製箱入　金壹圓拾錢　送料八錢

◇古道德の諸問題を補へて獨自の解釋を下し潑剌たる現代式の新世策を示す
青柳有美先生著　新刊　新世の中
最も進歩せる思想を有し然も人情の機微を穿つの所說を成すは恐らく著者を措いて他に其人無からん、本書は新時代の世態人情の表裏兩面を洞察し卓拔奇峭の筆法を以て巧みに大正の新世の中に處するの道を說述す、眞に人情の奥の奥世態の奥底に透達し處世上坦々たる大道を活步するの快を味はんとするの人は先づ一本を精讀せよ
菊判上製箱入　金壹圓拾錢　送料八錢

名著　天沼文學士・佐々木信綱・大倉貴彥　先生共著　新刊　能謠講話
縮刷合卷　いたづら小僧日記　おてんば娘日記

發賣　弘學館　東京日本橋區本石町　大阪市東區淡路町五
金正堂　大阪屋號

宮內省御用品　本品の眞價は既に社會に定評あり種々の名稱を附したる類似品多し本品の軸部にはSWANの英字刻印押捺せり
スワン萬年ペン
到る所の文具店に目下發賣中　買ふ人の德な時　最寄販賣店に乞御用命　目錄無代進呈　大阪東區平野町二丁目　スワン大阪出張所

寫眞　寫眞出張撮影・寫眞銅版・亞鉛版　最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と可嘆絕好な旨さし御高評に可應候　京城日報社寫眞製版部

森の種子發賣　發芽保證附　福山市吉津東　西上種苗園　御一報次第發賣目錄送呈

蠶卵臺紙　朝鮮發賣元　釜山本町二　朝鮮勸農商會　魯桑種子　普通桑種子

かいこのたねつけ紙よろず

公告　廣州地方金融組合登記公告　廣州地方金融組合ハ大正七年五月貳拾參日組合長ニ就任セリ　廣州郡大旺面紫谷里四百七拾五番地　李萬鍾　右大正七年六月四日登記　京城地方法院廣州出張所

公告　一、大豆壹千貫外一點　右來ル六月十二日午前十一時入札ス希望ノ者ハ當府門前揭示ヲ見ヨ　京城府

公告　一、京城府內道路沼砂利採取工事　右來ル六月十二日午前十一時入札ス希望ノ者ハ當府門前揭示ヲ見ヨ　京城府

募集公告　一、看護婦　數名　右募集ス希望者ハ履歷書携帶當府衞生係ニ申出ツヘシ　京城府

★サッポロビール　絕へず流るゝ水は常に清澄なり　多く賣行くビールは常に新鮮なり
大日本麥酒株式會社京城出張所

○在支敵國人收容地

敵國人の國外追放は來る十五日決行の豫定にて和蘭公使は是れを和蘭領に收容せんと希望し居れるも協商國側と支那政府は是れを不可とし結局英國公使が當初より提議し居れる滿洲の某地點に收容する事に決定せり(北京特電)

○敵國人追放と南方

支那在留敵國人追放の如き對外問題に就ては南方派督軍連も中央政府と行動を共にすと聲明し居たる關係あれば反對せざる可しと因に目下支那在留の敵國人は三千五百名あり(北京特電)

○敵國人追放策協議

七日午後一時協商國公使會議を開き支那の敵國人追放策に關し支那より意見を求め來れる件に就き協議したるが八日英國公使より外交部に對し協商側の意見を回答の筈也(北京電報)

○復辟出現說と徐氏

近來北京にて復辟の謠言盛んなるが或方面の消息に依れば徐世昌氏一派の常に復辟の心有るは事實なるも彼等は目下の處徐氏を總統に選擧せんとするに有りて復辟に非ず但し國會成立し得ざる場合にて來る十月に總統空位とならば時局は紛糾に陷る可く其時期に於て或は復辟出現するやも識る可らずと(北京特電)

○段總理と出兵準備

段總理は哈爾賓並びに威海衛に軍事委員を派遣し出兵準備を爲すに決定せり(北京特電)

○前敵司令官に急電

段總理は七日個人名義を以て前敵司令官に對し對南方策に就き最後の意見を徵する急電を發したり(北京特電)

○三督軍天津會合

山東督軍張懷芝奉天督軍張作霖安徽督軍倪嗣冲の三氏は近く天津に會合すべし(北京電報)

○鹽稅收入差押問題

日英露佛四國公使は銀行團の依賴に依り軍政府が廣東省の鹽稅收入を差押へて引渡さゞる不法行爲に對し支那政府に抗議を爲したるも支那政府の威力及ばざる地方の事故其効果なからんと(北京電報)

○米國廿四萬人動員

徵兵司令官グロウダー大將は六月中に更に二十萬人動員の命令を發したるが別に四萬人の黑人も召集さるべく米軍の總數は二百萬人以上に達す可し(華盛頓電報)

○明石臺灣總督

明石臺灣總督は熊本を經て渡臺の途に就くべく八日午前八時半東京驛を發せり(東京特電)

○司法官更迭說

司法官大更迭は目下調査中なるを以て近く發表さる可しと(東京特電)

○辭令

八日左記之通り辭令あり(東京特電)

專賣局長官心得を命ず　專賣部長　杉浦倹一

○今村財務官一行

今村財務官一行は俄に豫定を變更し八日安東下車市內視察の上同午後八時半發列車にて北行せり(安東特電)

○黑板博士通過

帝國大學教授文學博士黑板勝美氏は八日對馬丸にて上陸同夜北行せり(釜山特電)

◎殖銀の業務

朝鮮殖産銀行の營むべき業務は左の如し

(一)三十年以內の年賦償還又は五年以內の定期償還方法に依り不動産又は不動産以上の權利を擔保とする貸付

(二)五年以內の定期償還の方法に依る漁業權を擔保とする貸付

(三)法令の規定に依り設定したる財團の擔保とする第一號の方法に依る貸付

(四)農業者又は工業者二十人以上連帶して債務を負ふ者に對する五年以內の定期償還の方法に依る無擔保貸付

(五)公共團體に對する第一號の方法に依る無擔保貸付

(六)地方金融組合、漁業組合其他營利を目的とせざる産業に關する法人に對する第一號の方法に依る無擔保貸付

(七)朝鮮の産物又は朝鮮の産業上必要なる貨物を質とする貸付

(八)國際證券又は朝鮮總督の認可したる有價證券を質とする貸付

(九)爲替及び荷爲替

(十)公共團體の債券又は朝鮮に於て殖産事業を營むことを目的とする會社の社債券の應募又は引受

(十一)信託の業務

前項に掲ぐる貸付にして一年以內のものは手形割引の方法に依ることを得

▼株式の割當　朝鮮殖産銀行の設立事務を執る設立委員は不日總督より任命の筈なるが農銀の株主に對しては二十圓拂込の株式一株に對し殖銀新株一株を十圓拂込の株式二株に對し新株一株を五圓拂込の株式四株に對し新株一株を割當つべく但し政府所有の株式に對しては五株に付朝鮮殖銀株二株を割當つる事に決定したるが爾餘の株式は公募に附すべし唯プレミヤムを附するや否やは尚未定也

◎鑢商店事件悲觀

債權者は破産の申請をなさん

鑢京城支店の取引先に對する四十七萬圓の商品代金不拂事件はその後の經過順當ならず朝鮮の債權者を代表して大阪に赴ける某々兩氏よりの報告は此の一兩日來愈々絕望的の狀態に移りたるに付七日京城河野商店支店に債權者會議を開き十數名の關係筋集合鳩首善後策を講究散會したるが會議の內容は秘密に附せられ居れど洩れ聞く所によれば鑢商店整理の後援者たらんとする芝川山本伊藤三店は鑢との間に債權債務關係あり諸種の利害は三後援者の態度を煮え切らしめざるより荏苒日を空しくすれば朝鮮側債權者は益々不利の地位に立つ事となるより此際今一應後援者並に鑢に對し相當の交涉を進め尚ほ黑白を分ち難ければ斷然最後の手段たる破産の申請を裁判所に提起する事に決定散會したるが目下の形勢にては茲數日中に右手段に出づべしと

▼止むを得ず　右に付某關係者は曰く鑢の債務は京城の四十七萬圓と大阪の約三十萬圓を合して七十餘萬圓の巨額に上り一方其の手持品や資産はしかと分らぬが二三十萬圓らしいから結局四五十萬圓の不足を免れないやうである、殊に最近の絲布相場は益々芳しくないので到底その整理は困難である又後援者も所謂區々信用し難い點が多いから近く破産申請をなす事となつたのである、その結果裁判所が鑢の仕拂停止期日を何日と定めるかその定めやうにより指定期日後鑢が危くなつて資金の回收をなした連中も或は吐き出さねばならぬかも知れず問題は紛糾して來るわけだ又裁判所が破産の宣告を下し清算人を選んで鑢の債權債務の整理をやつて果して債權者に幾割の金が返されて來るかは問題であつてそれまでに可なりな時日を要する譯だ、實に困つた成行と申す外はない

▼影響少なからん　鑢商店の破産申請の決定は本事件の前途を悲觀せしむる外なきが此の影響に付某銀行家は曰く鑢關係の被害商店は何れも相當資産と信用を有する向に付ヨシ全損に歸するとも何も大打擊とはならざるべし唯某々一二商店は危險なるも波瀾は必らずしも廣く及ばざらん

◎典獄會議(第六日)

典獄會議最終日たる第六日は八日午前九時より總督府第二會議室に於て開會總督の指示並に提出意見に對する內示あり正午散會せり

◎露貨換算率

本月八日以降日滿貨物聯絡運輸に適用すべき日露貨幣換算率を百圓に付五百六十留とする旨京管局に通知ありたりと

◎土地信託會社成立

京城多田次平氏は永年不動産信託所を專門的に營み居れるが一昨年來大分縣別府中濱地埋立事業の有望なるを認め引續き調査中なりし處其研究調査を擔任せる工學博士石丸重美工學博士笠井愛次郎の兩氏も愈々確實有利なる事業として自ら進んで發起人中に加はりたる程なれば忽ち有力者百名以上の贊成を得て茲に資本金百五十萬圓の株式會社を設立する事と爲り發起人に於て其の大多數の株式を引受け五千株だけを一般より公募すべしと

◎化學工業會社設立

仁川の奧田貞次郎氏外十六名より申請中なりし朝鮮化學工業株式會社の設置は愈々其筋より認可ありたるが同會社は資本金五十萬圓にて本店を仁川に設置し油脂、肥料の製造販賣並に之に關聯する原料の買賣等を目的とすべく尚業務の都合によりて石鹼、皮革の製造販賣、副産物の精製販賣並に之に關聯する原料の賣買をも爲すべしと

◎手形交換狀況

京城手形交換所に於ける客月中小切手、手形、爲替證書其他證書に對する交換狀況を聞くに交換枚數合計五萬六千九百六十八枚此金額二千十三萬九千四百三十一圓七十九錢を示せり而して當月中一日平均交換枚數一千百九枚金額七十四萬五千九百四圓八十八錢を算し一枚平均交換金額は三百五十三圓五十二錢を算せり今之を前月に比較すれば手形枚數に於て三千百餘枚、交換金額に於て三百二萬六千餘圓の孰れも增加にして前年同期に對比する時は枚數に於て一萬六千二千九百餘枚金額に於て一千三十九萬四千餘圓の增大を見たり更に一日平均に於て前月及び當月を比較するに手形枚數に於て三十一枚の減少、金額に於て六萬一千四百餘圓の增加を示せり

◎京城通關貿易

京城稅關出張所の調査に係る客月中の京城通關貿易重要品狀況を聞くに輸移出品價合計十七萬二千六百八十五圓、輸移入品價合計二百五十七萬四千二百九十六圓にして輸移出品の主なるものは煙草の五萬二千餘圓を價格に於て最高とし重石鑛の三萬九千餘圓、大豆の一萬六千餘圓、牛皮の二千餘圓、人蔘の二千餘圓、米の五千餘圓等之れに次げり輸移入品に在りては粟の二十四萬六千餘圓生金巾生シーチングの二十一萬八千餘圓洋紙の十萬四千餘圓小麥粉の七萬八千餘圓絹織絲の六萬八千餘圓日本木綿の六萬七千餘圓煙草の五萬五千餘圓小包郵便物の六十四萬餘圓等を其の重なるものとす

◎布目少將通過

海軍省水路部長海軍少將布目滿造氏は八日午後九時南大門驛通過鎭南浦へ向け直行せり

◎高木博士退京

滯京中なりし臺灣研究所長高木友枝博士は八日午後七時五十分南大門驛發列車にて出發歸臺の途に就きたり

◎橘中隊長轉補

步兵七十九聯隊中隊長步兵大尉橘正雄氏は今回本職を免じ朝鮮軍司令部に補せられたり

◎佛副領事著京

東京佛國公使館記錄書記官兼副領事エドム、ガロアー氏は今回京城駐劄の爲家族同伴八日午後九時南大門驛著列車にて入京せり

◎畜産同業組合認可

忠淸南道牙山郡溫陽面趙重烈氏外五名の發起を以て曩に牙山郡畜産同業組合設置認可申請中の處七日附認可の指令ありたり又同道天安郡天安面宋泰熙氏外四名の發起にて曩に天安郡畜産同業組合設置認可申請の件は同じく七日附認可の指令ありたり

◎會社設立認可

武次郎氏外八名より其の筋に申請中なりし龍山倉庫金融株式會社は今般設立認可の指令ありたるが右は資本金二十萬圓にして倉庫營業及び金融業を目的とし京城に本店を設立すと

○露支國境の閉鎖

ポプラヤニッチヤナ以東にて交戰中

八日某所著電に據れば東部露支國境に於る戰鬪確實にして浦鹽及び烏蘇里方面にある過激派の大部隊ニコリスク、ウスリスキに集中しコルチヤク軍とポプラニッチヤ以東グロデコウオ廿五露里間に於て交戰中なり是れが爲めポ市以東の交通杜絕し露支國境は八日朝より全然閉鎖されたり(長春特電)

○兩地衝突と人心動搖

マリンスク、ニユジニウジンスクに衝突起りたるがイルクツクに於けるが如き衝突起る無きやを懸念し汽車は西方に發車せず人心動搖し居れり(哈爾賓電報)

○マリンスク形勢危し

マリンスクに於ける衝突は過激派とチエツク族との間に起れるものゝ如く形勢混亂に陷らんとするもの如し(哈爾賓電報)

◎平南夜盜蟲驅除

平安南道大同郡管內に四月上旬八の字夜盜蟲發生したるを以て當局にて夙くもこれが驅除を勵行したる

◎价川江界間馬車開通

平南价川より江界に至る乘合馬車は此程開通し同方面往來の旅客は便利を得つゝあり又近く自動車の開通も見る事となる可しと傳へらる

◎開城雜信

▲挿秧開始　開城附近は本月初めより挿秧開始せしが開は未だ一小部分にして眞盛りは十四五日頃なるべし　▲檢事著任　新任開城法院支廳檢事川崎爲期氏(前任地春川)は八日著任の筈　▲紳士體操研究　當時官民有志二十餘名は五日午後四時より開城小學校に於て櫻井博士の紳士體操につき研究したり　▲井上博士講演　井上圓了博士の講演は八日午前小學校にて內地人の爲め午後第一普通學校にて鮮人の爲開始の筈

人事消息

▲杉村逸樓氏(大邱地方法院檢事正)　八日夜入京入檜へ　▲本井定衣氏(同法院檢事)　同上　▲島村忠也太氏(大阪藤田鑛業會社重役)　同上　▲柳澤悅五郞氏(大邱地方法院長)同巴城館へ　▲前田信雄氏(大邱地方法院)同不知火へ　▲佐々木藤之進氏(海州地方法院長)　同上　▲大久保七藏氏(總督府技手)同上山本旅館へ　▲飯田延太郞氏(帝國生命保險常務取締)　同　▲石橋信太郞氏　八日夜木浦より歸京京城ホテルへ

◎正誤

昨夕刊一面「朝鮮殖産銀行設立に就て」の記事は誤つて六日夕刊の記事を重複掲載せしにつき茲に正誤す

寄柏陰將軍　立花小一郎

滿目乾坤兵氣連。大才不許付閑眠。蛟龍豈是池中物。乘得風雲欲上天。

一搏鵬飛三萬程。堂々意氣壓遼營。憑君徐開圖南計。牛斗茫々古佛城。

百聞百種

一箇月餘りも東京に滯在したツイ先頃北京へ歸つた蒙古巴爾扈特王の話によると土爾扈特族の無知無學は已むを得ないがまだ日本を知らず偶々知る者でも日本は朝鮮の一部だなぞ考へて居る者があると云ふ事だが之れには驚かざるを得ない　▲先般朝鮮を觀光した喇嘛僧の一行も日本を觀光して開發の度の進んだ日本の文明を見せる必要は大いにある　▲目下福岡で九州大獄を裁判しつゝある福岡地方裁判所の秋官栗本武三氏は豫てから名判事の評判があつて今度天下の耳目を集注して居るあの法廷で例の冴えた腕前を示し各地から集つた辯護士連をアッと云はせて居るそうだ　▲そして其裁判振りは溫容以て被告に臨むかと思ふと忽ち一變して辛辣骨を刺す皮肉を浴せかけ擒縱寬嚴殆んど端倪す可からざるものがある　▲今度臺灣總督になつた前總務長官明石中將の人物に就き野田大塊氏曰く『中將は寡默にして膽斗の如く又何事に就ても徹底的手腕を有して居る總長としても得意の手腕を發揮し　▲往年露國に在つても朝鮮の警務たる彼一片の武辯に似合はず政治的の經綸抱負に富む今次臺灣總督として最も適任たるを失はない予は同鄕の關係上特に其前途を祝福せざるを得ない』

大阪だより

△陶磁器保合　米國政府の[illegible]目に包含せらるべきを見越し生産[illegible]縮すべしと[illegible]の減少を見るに至りし[illegible]振合あると[illegible]

△海運界益好調　我國外國[illegible]回するに至れり之を最も手近なる例證として門司、濱石炭運賃の[illegible]左の如し[illegible]

備考　右運賃は平均値段なり

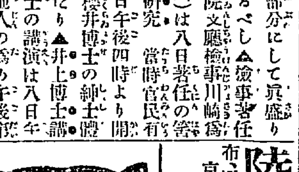
即ち昨年九月の十圓九十五錢を高[illegible]五錢下旬に十一圓の成約を見るに至りしは克く我國海運界の消長を[illegible]

[illegible]國及び孜馬砂糖の産額合計五百六十萬噸にして其中百五十萬噸は歐[illegible]ける甘蔗糖産高は更に昨年より減[illegible]べき傾向ありこは甘蔗種子の[illegible]たるもの多き爲にもして政府は愛[illegible]心に訴へ農業者を獎勵したる爲め[illegible]

陸軍拂下

並に諸官衙拂下品毛布、福袢、袴下、靴下手袋被服一切

京城府漢江通三電話長三三六番　佐藤古着店



京日案內

▲▲▲▲申込後中途解約の節は料金不返戾　六週以上の御申込は特に割引のこと　御照會は返信料に及ばず　御申込は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通五十字以內一回前金一圓（名…）

○素人下宿を望む　左記へ御通知下されたし　電話一五一番　184

◎喘息の大妙藥あり京城附近に取次店を募集す照會返信料要　兵庫縣明石櫻町　松村茂　183

◎月收の方に秘密信用貸迅速簡易御相談に應ず　金融〆御來店又は御來談　壽町八番地小林　185

◎店員入用　十四五歲より廿四五迄の者履歷書携帶來談要保證人　京城本町二丁目　もとふや　181

◎信用貸金　御便利に御相談に應ず　御用件の方は午前中に來談乞ふ　本町四丁目　雪我茶舖　178

求出資家

事業あり金五百圓位出資し得る共同者を求む委細面談　南山町三の十二番一壺一六番富貴館方川口　187

勸業債券持價買入

多少に不拘債券擔保にて低利貸付致升　京城太平通一ノ一三　電二七九三番　朝鮮產業社　169

中古ミシン買入

御用の方は電話又端書御一報參上　京城鍾路二丁目　電二三八　楠商店　52

最新刊

○正誤　本紙六月六日付第一面廣告欄中平壤中村組支店廣告中露頭とあるは露頭の誤り又採掘中のものより以上とあるはものはより以上の誤に付茲に正誤す

第三・五　各七十錢　第一、二、四、六　各六十錢　鈴木爲次郎著新式圍碁寶典

新撰圍碁全集　鈴木爲次郎　一、〇〇

新案圍碁獨學び　巾岩佐銈　五〇

圍碁上手泣かせ　瀨越憲作　六五

舊幕府御秘藏碁戰　本因坊秀哉講評　定價八十五錢

圍碁妙選　方圓社編　四〇

圍碁中の定石　鈴木爲次郎　五〇

此一手　高橋清致　六〇

布石攻合法　上下組　中川龜三郎著　定價壹圓武拾錢

五先　互先手合布石定石新法　岡新巖　六〇

留碁必勝布石要訣二冊　雁金準一　一、二〇

新選圍碁定石講話　鈴木爲次郎　五〇

將棋必勝法　上下組　木見金治郎　定價五十錢

布石戰爭打碁細評　瀨越憲作　六五

五目ならべ秘傳　三上桂介　七〇

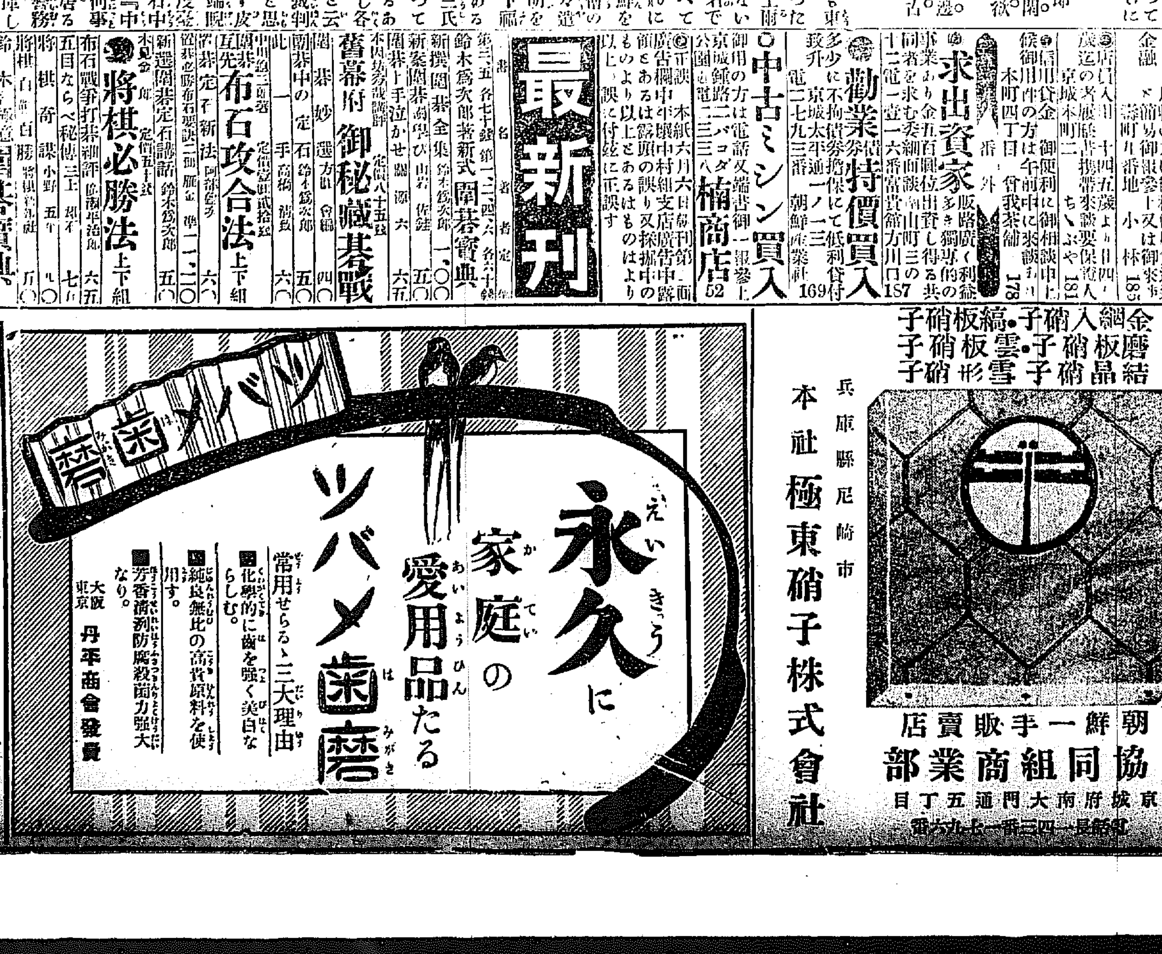
將棋奇談　小野五平　七〇

將棋自由自勝　將棋研究社　六〇

鈴木爲次郎著　新式圍碁寶典　第一、二、三、各六十錢

京城本町　大阪屋號　電話六四番　振替京城二五七番

(本店)東京(同店)大連、旅順、鐵嶺、釜山



本田醫院

內科　眼科　小兒科　京城黃金町三丁目赤門通(電車停留所前)

院長　本田建義

附屬　京城肛門病痔疾療院　電話二四四三番　振替京城三二八番

肛門病の話　入院隨意　痔疾特種注射根治療法解說書入用の方郵券十二錢要す

極東硝子株式會社

金剛硝子・入硝子・網入硝子　磨板硝子・雲板硝子　結晶硝子・形雪硝子

御使用先　朝鮮駐劄軍司令部廳舍其他諸官衙　目下建設中の京城印刷所新築工場

本社　兵庫縣尼崎市

朝鮮一手販賣店　協同組商業部　京城府南大門通五丁目　電話長一四三一番一七一九六番

中村分析所

各種鑛物(分析依賴)金銀精製(に應ず)新發見鑛區買入

京城旭町一丁目七　電話一壹一七番

謹告

弊社ト公債ノ月賦購買御契約以來滿十八ケ月遲滯ナク御拂込ミ相成候ニ付左記各位ニ對シ本日當社規定ニ依リ日本勸業銀行發行ノ債券壹枚宛贈呈仕候間此段廣告候也

大正七年六月九日

京城　大島九郎殿　京城　吉松春子殿　京城　李鳳煥殿　春川　吉田德藏殿　批峴　宮川末太郎殿　平壤　岩本重次殿　平壤　安武巳之吉殿　京城　彌長キミ殿　京城　申云浩殿　江華島　金東濟殿　春川　品川泰介殿　太田　猪尻友吉殿　平壤　南星野たけの殿　京城　森田百合子殿　京城　勝谷トミ殿　批峴　菅波フサヱ殿　江景　吉川藤平殿　平壤　絹谷常吉殿　以上

日本國債債券株式會社(資本金參拾萬圓)

社長(碓氷產業銀行頭取)塚越瑳市郎

本社　東京市麴町區有樂町一丁目三番地

朝鮮總支部　京城府南大門通一丁目十二番地

陶磁器市況は一時不況の成行を見[illegible]悪材料現はれざる限り當分下値は[illegible]するに至らずしも斯品の早晩禁輸品と[illegible]堅實なる保合を持行前の我國海運界の最高潮期に換[illegible]資を促し今や昨年九月艦艇法施[illegible]

二月	六、八七
三月	七、六二
四月	九、三二

共に漸次上向き五月に入るや十旬[illegible]にて十圓と進み中旬に十圓六十[illegible]

●今日の日蝕

◇早起して高い處で、◇日出を待たねばだめ

日出の時に三分の帶蝕で現れる

◇朝鮮では重大な價値はなく、曆の測定上の研究資料だ

仁川 平田觀測所長談

九日の日蝕は天文學上には非常に重大な價値のあるものとして騷いでゐる、それは珍らしい皆既蝕があるからである今回の日蝕は唯鳥島に皆既蝕が見ゆる丈で其他の場所は皆部分蝕であるが鳥島にして完全に觀測が出來れば斯學の研究資料としては實に此の上もない

●價値 あるものと云はねばならぬ朝鮮では部分蝕であるが故に左程重要な意味も爲さないが只當所に於ては曆を編製して居る關係上此の日蝕の觀測に依つて果して現在の測定が確實であるや否や或ひは如何なる點迄計數が符合してゐるか什うかを研究したいと思つて居る、それのみならず之に依つて經度の確否を研究する事が出來る即ち現在示された經度は或ひは米國、布哇或ひは日本と相互の

●觀測 を比較研究して確定されたものであるから絶對不變では勿論ない之を今回の日蝕の觀測に依つて果して示された分秒角度と實測とが符合するや否や若し等差を生ずるが如き場合は必ずそこに觀測の算定に相違があるか或ひは基本の經度に誤りがあるか何等か研究に値ひする成物を發見しなければならぬのである之等の關係上觀測は相當

●用意 してあるが何分午前五時十二分京仁では日出の時既に三分の帶蝕を以て現はれ約三十分にして甚蝕其後漸次復蝕するのであるから果て觀測が出來るや否やは頗る疑はしい殊に近來は黎明には必ず地平線上に雲があるので或ひは駄目に終るかも知れぬ一般の人が見るには餘程早起しないと駄目であるがそれにしても丘上に昇るか適當の場所に日出を待たねば一寸見る事は不可能であらう

◆東宮殿下行啓

東宮殿下は八日海軍々令部に行啓御見學の上軍事講話を聞召されたり（東京特電）

●神宮繪畫館圖案募集

◇四萬圓の懸賞

詳細は近く官報にて發表

青山の明治神宮外苑に建設さるべき明治天皇御繪畫館及び葬場殿記念建造物は明治神宮奉賛會にて百四十萬圓の經費を以て大正六年度より五箇年計畫にて建造さる丶は既記の如くなるが此の兩建築物の設計は約四萬圓の賞金を懸けて

◆廣く天下に 募集する筈にて既に昨年末奉賛會の設計委員會にて其の募集條件を規定して神宮造營局に附託しありたるところ此の程同局にて更に細部に亙る技術的の條件を附し同委員會に廻附し來りたれば、三日午後一時半より古市委員長、日下部、川瀬、伊東、佐野各博士、正木美術學校長等の委員參集して審議を重ね、愈々數日中に官報にて發表を見るべし而して其の

●記念建造物 と繪畫館を同一建築物として設計するか、若しくは二つに區別するか其の配置建坪は全然應募者の考案に委すべきも經費は兩建築物にて百四十萬圓を超過することを許さず而して其の期間は發表後約三箇月なりと（東京）

●天罰免れ難し

不正漁夫の慘禍

咸南西湖津沖合七里許りの海上にて爆藥を投じて不正漁業中なりし檜垣某の乾兒林礒吉（四三）は本月三日例の爆藥を投げ込まんとしたる刹那に爆發して兩手を粉碎され兩眼は潰れ瀕死の重態にて咸興慈惠醫院に擔ぎ込まれ目下手當中なる由にて咸興署にては件の漁夫等を逮捕すべく活動中なりと

●千代丸の浸水

大阪汽船千代丸（九百七十三噸）は五月三十一日群山港に入港投錨したる同夜半二時頃何物か流れ來り同船の舷側に當りたるためベツト剝落するに至り小穴を生じ其れより浸水し居るを發見し直ちに防水せしも其の爲め玄米二百二十三叺は水漬けとなり損害七百餘圓に達したりと

●火田の火で燒死

江原道伊川郡熊灘面乾子里金寛壹妻李寛（五二）は此の程同面道洛山の火田に火を入れたる際逃げ場を失ひ遂に燒死せり

●伊太利赤十字社後援園遊會

伊太利人チリカロ氏と英國領事との主催に係る伊太利赤十字社後援園遊會は八日の午後から西界洞チリカロ氏の庭園で開かれた新緑に滴る小丘の蔭々さした庭園に眞紅の薔薇美しく咲きほこる小路を縫うて日英佛米白伊支各國多數の紳士、夫人が晴やかな衣裳を纏ひ嬉々談笑の間を少年少女が泳ぎ回つてゐる、花を賣つて歩いて居る十七八歳の[illegible]戸外で

晴やかな樂譜を傳へ室内ではピアノとヴァイオリンの妙なる音がそよ／＼と緑滴る瀧を縫つて吹て來る涼風に或は高く或は低く流れて來る、すると又一方では紳士淑女有志の合唱があつて喝采を博する賣品には美しい手藝品やカイゼルの細な造つた諷刺お菓子の樣なものがドン／＼賣れてゆく、天氣は少し暑かつたが綠濃かな木蔭で茶菓の接待を受け終りに抽籤で種々な景品が出て來會者は十二分の歡を盡して散會したのは七時過ぎであつた。

所謂紳士の體操に就いて（八）

—簡單容易な強健運動—

◇淑女にも應用す可し◇

九州帝國大學醫科大學教授 醫學博士 櫻井恒次郎

三、頭の運動（各四擧動五回）

頭の運動は三種類丈選出した、即ち頭の前後屈と、左右屈と、左右回轉である。之れ等の運動では、體の位置が固定して居らないと、働作が正確に行はれないのであるから、特に兩脚を擴げ、重線面を廣からしむることが必要である。軀幹は云ふ迄もなく、正しく保たねばならぬ

◇一、前後屈は第一擧動で頭を少しく前方に屈し、第二擧動で元に歸り、第三擧動で少しく後方に屈し、第四擧動で又元に歸る、此際注意す可きは、頭全體を曲げることなく、唯頭丈を前後に屈することである。委しき解剖學上の説明は、少しくどくなるから、特に省いておくが、要するに頭を頸と共に強く前後に屈すると、其の爲めに呼吸に障害を惹起す許りでなく、脊柱の靜的努力に影響するからである

◇此點は若し諸君が中小學校の體操教員諸氏から傳授を受けらる丶場合には、特に注意を願ひたいのである諸し之れ等の體操は同諸氏の中にに、陸軍式とか稱へて、切りに強く頭を前後に振る流義の人々が、少なくないからである

◇（二）側屈は頭を回轉することなくして頸と共に左右に屈するのである、此頭を回轉せぬと云ふことが、此運動に必要なる條件である◇頭を回轉せず側屈すると云ふことは、或は誤解をする人があるかもしれぬが、つまり頭を側方に屈する場合に鼻線が廻はらぬこと言葉を換へて言へば、鼻線が丁度顔の邊で、右或ひは左に折れると云ふことである。此運動も精神の筋に對する支配が充分訓練されると、容易く出來る樣になる

◇（三）回轉は頭を回轉して丁度元の位置から九十度位角丈、左方或は右方に向けせる動作である。

◇扨何故に如斯頭の運動を行るかと云ふに、筋肉の努力から言へば、頭を動すには、極僅かの努力を要するのみであるが、此運動を正しく行るには、軀幹と下肢の姿勢が正しきことが必要で、之れに要する靜的努力が中々少くない

◇併し頭の運動の最大目的は他にあるので、それは即ち腦髓に對する血液循環の關係である。腦髓は人體の諸臟器中其機能に向つて最も多量の養分を要する臟器で、從つて腦髓に對する血液循環の良否は腦の機能即ち精神に、多大の影響を及ぼすのである。

◇此運動を紳士體操に加へたる理由がふくきことである

は、腦髓は一夜の睡眠により前日の疲勞より回復して居るもの丶之に反し新陳代謝の結果として出來た[illegible]

◇言葉を換へて云へば靜脈血の一分が腦に停滯して居るのである、[illegible]

●講道館支部新道場開設

舊大正俱樂部に

この際の入門を歡迎す

講道館朝鮮支部は昨年十一月以來總務總監部道場を借受け柔道稽古を行ひつ丶ありしが曩に黄金町三丁目朝鮮貴族會館構内なる舊大正俱樂部の建物を購入して支部道場となすに決し取急ぎ之が改修に着手し此の程竣工しこ丶に市の中央に好個の

◆新道場 を見るに至りたるを以て九日を卜し移轉式を擧行すべく即ち同日午前十時神官を聘して該道場に修祓を行ひ次で部員一同打揃ひ誓文署名をなし次に亂捕稽古を行ふ猶同支部に於ては此の際大に入門者を歡迎する方針にして六月中入門申込の者に對し特に成規の入門料を免除すべしと尙

◆柔道界 の元老にして且つ講道館支部の設立に就ては功勞ありたる[illegible]五段が過般突然病臥の身となりたるは斯界の爲め遺憾に堪へざる所なるも同氏と支部との關係は將來も渝ることなく又從來同氏と志を同うして斯道の發展に盡瘁せる熱心有力なる少壯有段者は多士濟々たる有樣なるを以て[illegible]

◆役員を 選定し[illegible]

●府會議員續々收監

京都府會議員大槻余藏は瀆職事件にて收監され代議士山口俊一氏（憲政）の身邊また危ぶまる（京都特電）

●函館師範運動會

六月二日[illegible]

▲米國砂糖減產

昨年度米[illegible]約六十封度の減額を來せる割合なり、而して本年度米國内に於ても拘らず甘菜の栽培を[illegible]頻に更へ[illegible]

●消防隊講習修了

京城 常備消防隊にては總督府鐵道局より宮内講師を聘し去る五月二十六日より二週間消防用自動車の組織及び運轉方法に關し講習中なりしが八日修了式を擧行午前十時總務部長係官を從へ南大門消防隊に臨場訓諭證書を授與し一場の訓示ありて同十一時終了せり今回の講習人員は二十九名にして内巡査部長一、巡査二、内地消防員二十六なりと

●遂安金鑛の泥害

黄海道遂安郡大千面敬道里附近の畓は同所の淺城鑛業株式會社の精錬所より流出する砂鑛の爲め年收穫二割乃至五割を減少し被害甚なからされば耕作者一同協議の上に關し會社と交渉中なるが會社にては苗代を他に選定し被害農民に提供せん意向なるも未だ決定せざるが何れにしても會社は耕作者の損害を賠償し又砂鑛流出防止に關しては今後相當の施設を爲す筈

●馬賊住民拉去

五月十七日午後七時頃各自銃を携帶せる馬賊十五名和龍縣[illegible]社長仁社の支那人朱某方を襲ひ家人一名に負傷せしめたる上現金二百圓及び小銃二挺を掠奪し更に同地雜貨商鮮人李某方に闖入し現金五十圓を奪ひ取り尚鮮人一名を拉去して安圖縣方面に引揚げたり此の急報に接したる頭道溝保衞團は民兵三十名を急派し討伐に向はしめ三道溝青山方面に追跡中なるが該馬賊等は安圖縣の奥地々方に根據を有する日除名の連類なりと

●王城畫伯作品陳列

京城 王城氏作品十數點を銀行集會所に陳列九日、十日の兩日午前十時より午後七時まで同好者の觀覽に供すべしと

▲原色版▼

高木背水畫伯筆

金剛山勝探繪葉書（一組六枚）定價三十六錢 郵税二錢

朝鮮名勝繪葉書（一組三枚）定價十八錢 郵税一錢

金剛山の分は萬物相の朝霞、海金剛の夕照、元山港の朝、温井里の龍淵の秋、赤壁江の朝、大同江の水原、朝鮮名勝の分は金剛山の玉龍洞を實地に描寫したるものにして其の筆致の優と印刷の良とは歐米の夫れに比し決して遜色なき鮮麗なる又と得がたき良品なり。

京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇 電話（構内十八番）

富の道しるべ 山崎五十雄、村上唯吉共著 價十五錢 郵税二錢

京城太平通 振替京城三〇〇番 日報社代理部

易斷 高島易斷本部

高島易斷本部主事高島香明先生出張

受付 午前八時より午後三時まで

場所 京城旭町一丁目日ノ出湯前（電話一五七二）

神易協會

夏洋服（上下二枚）折襟詰襟制服同値 送料（鮮内二十四錢 外五十錢）

▲ヘイヤクロス（鼠霜降）

▲斜子本リンネル（白及ビ薄茶）

▲シュランク（白及ビ薄茶）

▲白パナマ地

▲ラミー麻（白及ビ薄茶）

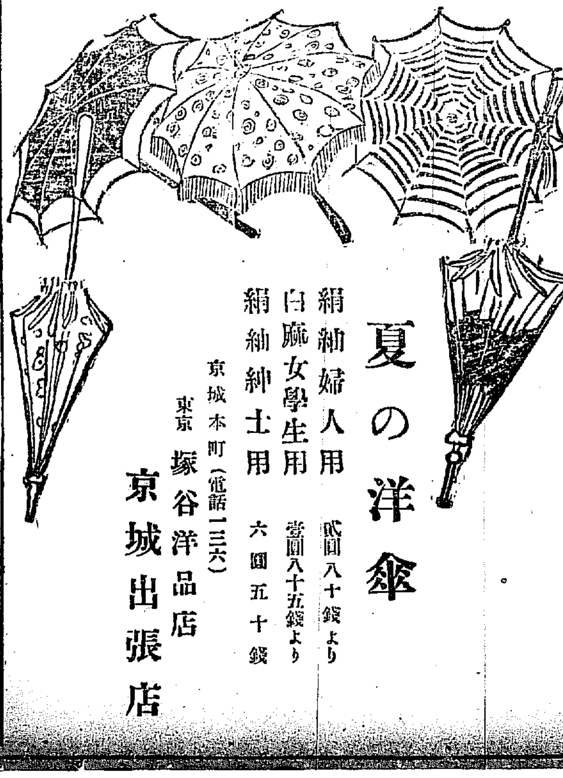
▲白綿リンネル

金拾七圓五拾錢也 金拾六圓五拾錢也 金拾六圓八拾錢也 金拾五圓八拾錢也 金拾參圓五拾錢也 金拾貳圓五拾錢也 金拾貳圓五拾錢也 金九圓貳拾錢也 金七圓八拾錢也 金七圓參拾錢也 金六圓五拾錢也

▲地方は御申越次第見本帖と寸法取圖解送付可申候

京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

人事百般 周旋業 京城府明治町貳丁目 萬年社 電話長一八四四番



夏の洋傘

絹紬婦人用 貳圓八十錢より

白麻女學生用 壹圓八十五錢より

絹紬紳士用 六圓五十錢

東京 塚谷洋品店

京城本町（電話一三六）

京城出張店

妻の心 (三)

小林鵬月作 武内桂舟畫

(二)の三

世の中の憂きも艱苦も嘗め盡して來た母親の喜久子は、禮子が今の慌だしげなる不完全な返答に依て、立ろにその實否を悟つた。禮子が行き詰つた苦しさうな呼吸と云ひ、眼の中に一杯の涙を湛へて居るのは、云ふまでもなく他人の噂さ以上に、久三郎が近來の不德行爲が、その頂上にまで達して居るに違ひないと判定したのである。

『禮さん、少しも隱し立てするには當りません。妾は見る通り隱居の身分には違ひないけれども、卒と云へば、矢張此の町川家の最上の權力者と云ふ事が出來るんだらうと思ふんです。お前、まア考へても御覽なさい。お前は妾の腹から生れた實の子の家付の娘でせう。町川家の血を享けて居る嫡女でせう。久三郎さんは、彼りや何です。唯ッた法學士の免狀一本懷にして、お前の許へ婿養子に來た人間ではありませんか。尤もね、それも是も此方が固より承知の上の結婚なんだから、今更愚痴を云ふんぢやありませんがね、三年前に代議士の候補を爭ふ時だつて、彼れ丈の莫大の費用は、悉皆何處から出て居るんです。その他會社の重役に取立られるやうになつたのも、自動車を走らして、肩で風を切つて步くやうになつたのも、煎じ詰めて見たなら、一切合財町川家のお蔭に違ひはありますまい。それだのに、家付のお前や妾と云ふ者を蔑にして、夜泊り日泊りとは、何のこッてせう。其麼人間の道を知らない紳士が、政治家だの、代議士だのと云つて、それで威張て步ける筈のもんでは……何ぼ文明の今日だと云つて決して許さるゝ道理のものではありません。禮さん、お前だつても亦、そんな泥足で踏み付けられるやうな目に遇ひながら、母の妾にも明さず、默つて愚圖々々して居ると云ふ理由がありますか。良人から叱り飛ばされて只めそ〳〵と泣いて居るのが女の貞淑ではありませんぞ。それは俗に云ふグータラの意氣地なしと云ふもんですよ。今日と云ふ今日は、包まず久さんの昨今の不始末を打明けてお呉れ。お前に最後の決心が付かなければ、妾が母家へ乘出して行つて、屹度此の處置方を著けて見せます。』

別段聲を荒立てゝ、罵り喚くと云ふ程でもないが、所謂昔氣質の一本槍であるから、その語勢と云ひ意氣組の鋭い事は、到底一通りでなかつた。禮子も、母が此の氣質を吞み込んで居ればこそ、母の方から問ひ出されてもまだ、出來得べくんば、それを包み通さうと思つたのである。

『……阿母さま、まあ少時お待ち下さい。成程彼仰る通り、世間の人が其麼噂さを致しとるかも知れませんが、實際のお話は、一箇月に一度か二月に一度位政黨のお方達や何かのお交際で、餘儀なしに何處へかお泊りになる事がありますけれども、それが爲めに、妾を故意虐待なさるとか、辛く當つて什うとか云ふやうな事は、毛頭有た譯でも御座いませんし、又阿母さまに對しても、自分は此の通り忙しい身體だから、妻たるお前が、自分の分まで二人がけの孝行を盡して進げねば不可……と、朝に晩に申しつゞけて居る位で御座いますもの。阿母さま、其麼世間の噂さ話なぞは水に流して御安心遊ばして下さい……。』

『いゝえ、それはお前の嘘です。妾の前を取繕ふ爲めの頓智と云ふもんです……。』

『そりや又、什う云ふ譯で御座いませう?』

母とは云ひながら、禮子も少しく不滿を感ぜずには居られなかつたのである。

『譯は、妾から說明するまでもありません、お前が現在、ぶら〳〵病と同樣の姿で居るのが、何よりの證據ではありませんか。ちやんと圓滿な平和な家庭の内に、夫婦仲も睦じく、別段な事もなくて居るものなら、何で其麼に鬱ぎ込んでばッかしお在なんです。他人の噂さの嘘とか本統とか云ふ詮議立てよりは、妾にはそのお前のさびしい力ない顏色が、一番明かに證據となつて居るんです。禮さん、何遍云つても同一だけれども、妾はお前を産むだ實の母ですよ、此の儘に打捨つといて、萬々一お前の身體に……ひよんな事でも湧いて來らば、お前は此の町川家と云ふものが、什うなる事とお思ひだね。』

喜久子は、眞實娘の行末と町川家の運命を心配すればこそ云ふので、その一言一句固より虛喝や威嚇の爲めでない事は、無論であつたが、それ丈に又、禮子が胸に堪へる程度も、深刻であり、辛いのである。

皮黴科
皮膚病 黴毒 痲病 膀胱病 生殖器 機能障礙
京城明治町二丁目(元町) 佐藤醫院 (電話一一七三番)
入院隨意(診察夜九時迄) 日曜祭日午後二時迄

名刺 京城 太平堂 電話二七一三番 振替京城三三六七番

品質本位 人蔘エキス 其他諸製劑
京城南大門通三丁目 朝鮮化學製藥株式會社 電話一三一六番

日報歌壇

□旅に歌へる 素月

戰線江に添ふて遡り、高山鎮を經て對岸綏東省に渡る途中、諸兄の健在を遙に祈上候

前々と青草千草はのびぬれど晴るべくしなき心かなしも

さいべりあ荒野の曠さ思へごもわれのゆくべきところなるらし

いかなれば旅にいでしと折ふしは心にとめれあはれ吾妹子

おほかたの愚なさまなしつくし見知らぬくにの旅にいするも

こしかたのすべてなごゝにほうむるさぬれたる石なつみて悲しも

いつのまに色づきにけむ田のうれのあひまひまに消し麥の末

ゆくりなくいき吐く牛のいさほしくしばしがほどは見てゐたりけり

何故に落つるものかもこのしづく膝に落ちたるこのひさしづく

旅ゆくさこれのわらじの若草をふみてはづかし若草の上な

二十二年あへて永きにあらねども思ひ出多きさなりしかな

嘉吟社詠草(新華)

櫻

碑前に記念碑ありて櫻かな 春草
湖沿ひの街路樹に交り櫻かな
果樹園となる兩側の櫻かな
租借地の丘を彩る櫻かな
煤煙に曇る工場の櫻かな
噴水の虹斜交ひに映ゆる花
櫻の大樹取卷く茶屋の灯哉
垣越しに見ゆる隣の櫻かな 不可人
本堂に閑寂の會ある櫻かな 香仙

藤の花

藤乘垂る濠端を往く電車哉 春草
龜を放つ池の廣さよ藤の花 不可人
藤棚の下に茶屋ある時かな 逸明
莊園の白き瓦斯燈や藤の花 湖劍
御手洗に影濃かな藤の花 香仙

雲雀

苗植うる鍬の光りや畑雲雀 湖劍
麗な空に舞ふ雲雀哉 不可人
麗や水に尾を曳く渡し舟 香仙

新刊紹介 (到着順)

▲都會及農村(六月號) 十八錢、東京麹町區平河町五ノ三六洛陽堂
▲教育時論(一一九二) 十錢、東京麹町區飯田町四開發社
▲刀の研究(四ノ五) 二十五錢、東京下谷茅町二の三南人社
▲入文(三の六) 十六錢、東京小石川白山御殿町一一七新光舍事務所
▲婦人週報(四の二二) 五錢、東京牛込市ヶ谷田町二の一七共社
▲民聲(二八) 七錢、東京麻布一本松八共社
▲學生英語(一の三) 十二錢、東京神田表神保町三研究社
▲青年雄辯(六月號) 雄辯とは何ぞや(新渡戸博士)日支交渉顛末(加藤子)現代戰爭と倫理思想(中島博士)科學と道德(服部博士)道とは何ぞや(井上博士)對露外交は如何にすべきか(尾崎、…、松波帝大教授、松田代議士、林慶大教授、堀内中將、望月代議士)(二十五錢、東京牛込矢來町三共社)
▲歐洲大戰の教訓と青年指導(陸軍中將田中義一著) 歐洲大戰の狀况各國青年の活動狀况戰後の吾國少年を如何にして指導教育すべきかについて數萬言を費し一般國民教育者なるものゝ必讀參考に資すべき好著なり、定價特製二十錢、普通十錢(東京中央出版發行所振替東京二三〇〇)
▲投稿文藝(一) 定價一部金十二錢、一箇月金二十四錢、三箇月金七十錢、六箇月金一圓卅五錢、各欄選者文藝家集を依らせたるもの(十二錢、東京小石川大塚仲町中央出版社)

讀者の領分

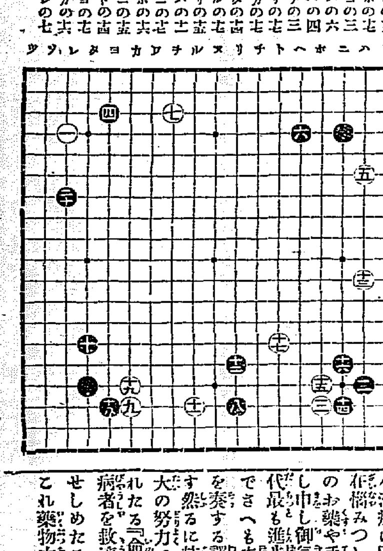
▲龍山貴察署は現場の[illegible]…ナト自とはなし牛馬の通行が目に入らぬ門番とは云はれて居るが今に大砲を牽て通行しても門番の目に入らぬ[illegible](馬車挽)▲母に告ぐ一年八箇月の乳兒百日咳でお困りの由早く主治醫に診てお貰ひなさい同情の餘りお醫者の來る迄と家庭的療法を左にお示し致します一、新鮮なる空氣、木枕、安靜、臥床、二、お乳を[illegible]お與へなさい三、排泄丸根治(一、〇)五〇、〇單位一〇、〇五二日分一日三回分服本病は一回經過せば免疫となります罹患中合併症あれば危險です(南大門通香生)▲私は鍼灸業を營み[illegible]京城で開業試驗に合格しましたが內地でも開業が出來るでせうか合格の上は內地でも開業する事が出來ませうか御手數ながら當欄でお知せ下さい(ケー生)▲黃海道の田舍の某局の受付に目は血走つて顏は紫色になつて西田の出來た癩病らしい事務員が居る彼は無學な朝鮮人と見ると無暗に呶鳴り散らすが若い女と見たら窓口から半分顏を出してご愛嬌が好い(癩病排斥論者)▲本欄西小門城壁下一貫起人に申す云々の記事を見て本日來店に付前記二個相渡し置候貴社の御厚意之段難有奉謝候(服物商)

碁戰 (一)

(大正七年五月二十二日 京城於紀本龍太郎氏宅)

二子 五段 [illegible]源吉氏
初段 佐藤伊藏氏

一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇
レの四	ハの十六	ホの十七	ヨの三	ハの六	ヘの四	チの三	リの十七	カの十七	タの十四	ルの十七	リの十五	ハの十二	ニの十六	ニの十五	ホの十四	トの十四	ヨの十七	カの十六	レの七



▲夏季と葡萄酒界の傾向 近來の好景氣に伴ひ葡萄酒界の需用又激増を加へ頓に製造能率の昇騰を見るに至れり然も其影響さして近來雨後の筍の如く新製品の續出するを見ても其間の消息を窺ひ知る事が出來る斯く多種多様の葡萄酒中にありて十年以來の品質の精選と信用に於いて特に葡萄酒界の重鎭として幾多の需要家の滿足と歡迎を受けつゝある赤玉ポートワインの如何に品質の精良なるかは葡萄酒中需用の最も多きを以ても知られ輸入本店の盛况は斯界の注目を引きつゝあり今赤玉ポートワイン愛用家の傾向を聞くに從來一般葡萄酒需用は重に滋養強壯劑として用ひられ居りしも近來食卓用として著しく傾向の變遷を見るに至れり特に赤玉は最も口ざはりよく婦人小兒の口にも適すれば飯食前之を用ふる家庭は漸次上流中流家庭に及ぼし來りつゝあり然も夏季需用家の激増に對し赤玉ポートワイン輸入本店は之等需用家の滿足を計り最近一大努力を以て需用家の要求に應ぜんとせり(大阪)

今迄の經驗により 一番効能のあつた
子宮病血の道の藥
効能は事實の上に表はれ 全治の禮狀日に益々多し

俗に血の道と云ひ又は子宮病と申して居りますが凡そ婦人を呪ひ婦人を惱ます事此の位執拗い病はありませんその上一番困る事は病の特質として初期の中は多くは氣付かずして過ぎます其徵候が明かになつて騷ぎ出す頃は大抵取り返しのつかぬ程度に病氣が進んである事でありますされば此病は如何なる原因から起るかと申せばそれには種々の理由がありますが玆には皆樣の御參考迄にその一般症狀をあげて見ますとまづ下腹り足腰の冷え下腹引きつり差込み動悸息切れ物案じ氣鬱ぎ食慾不進便秘不眠症頭痛めまひ惡寒逆上肩凝り其他全身に氣力がなくなり妙に沈んでとかく世の中が厭になり顏色は蒼白くとして昨日の美貌も今日は見る影もなく讓しき機嫌を落し良人に嫌はれるのみならず子種のオリモノ則ちこしけとなり月經不順は勿論の事遂には婦人として最も恥辱なる不姙症となるのであります子なき婦人は婦人としての資格なき事は申すまでもないが『子なき女は去れ』なぞ昔から云はれて居る通り一生不幸に泣く婦人は決して其例に乏しくないのであります

されば婦人病は全く不治の病か?

前にも申上げました通り婦人病は中々治療に困難な病でありまして現在惱みつゝある方は隨分四方八方のお藥や手當をなされた事と御察し申しますが御氣の毒で堪りません最も進歩せりと稱せらるゝ洋藥でさへも本病に對しては萬能の効を奏する譯には參りませんさうで然るに玆に多年の苦心研究と絕大の努力とに依つて遂に發見せられたる『命の母』は實に幾多の婦人病者を救濟し全治せしめ子寶迄得せしめたる奇効を奏して居りますこれ藥物中の奇蹟の如くにして寄賢にあらず實に根本から病を治す力があるのでかの有名なる下山藥學博士も極力稱讃せられ其他の博士學士も立派な證明をして居らるゝ譯で蓋し『命の母』は婦人藥としては全く飛び離れた理想的の藥即ち婦人護身藥として人氣を一身に集めて居るのでありますが於玆乎流石難症の婦人血の道子宮病は必ずしも不治の病でないと云ふことになつたので大なる信用を以て『命の母』は全國到る處の藥店に行き渡つて居ります

主治効能 足腰冷、下腹引つり痛、頭痛、めまひ、ヒステリー、子宮内膜炎、産前産後

婦人病自宅療法

婦人病は最も怖るべく遂には一身を誤らせ一命をも奪ひ去る病氣でありますから前に申しました兆候の中一つでも思ひ當る人は一刻も早く相當の手當をせねばなりませんそこで最も安心なる療法として婦人科專門醫學大家が婦人病者の爲に書かれた『婦人病者の心得』と云ふ本を一讀して其通り實行するのが最も確實なる方法です本書には婦人病及不姙症の原因治療の方法等を一切の經過原理婦人病の最も丁寧に誰が見ても分る樣に書いてありますから何人も自宅で療法が出來ます本書入用の方は東京市京橋區新榮町四丁目笹岡省三(電話京橋二二〇一番)宛てハガキ又は電話にて御申越しあれば無代にて進呈いたします

定價 ●試用分 十錢 ●二日分 廿五錢 一週間分 八十錢 二週分 一圓五十錢 五週分 三圓 ●加減命の母 任意 一瓶

淫羊藿エキス

淫羊藿エキス 人蔘に優る滋養強壯劑 通稱三枝九葉草エキス

主効 神經衰弱症、貧血症、腎臟病、胃腸病、生殖器病、リウマチス病、ヒステリー、ヒポコンデリー、老衰、精力減退

定價 廿瓦入金壹圓 卅瓦入金壹圓五十錢 四十瓦入金壹圓九十錢 五十瓦入金貳圓三十錢
送料 鮮內二錢 外三十錢

全一手販賣 國合資會社 京城日報社代理部 朝鮮京城府大平通一丁目 電話長六〇〇九番ノ三一八番 振替貯金口座京城三〇〇番

産科 婦人科 京城壽町 電話一一〇一番 醫學士 二宮亮吉 二宮醫院

効能 逆上を引下げ便通をよくし 黴毒其他諸毒を下す 効能で賣れる ひめぐすり
大日本大阪高津 電話南三二九 振替大阪九七三 本家七ふくや伊藤長兵衛

拂下公告
一、牛血壹萬頭分
右來ル六月十五日午前十一時入札ス希望者ハ當府門前ノ揭示ヲ見ヨ
京城府

りん病 はい毒 請合藥
京城南大門外停車場通 ドラッグ商會淸鮮本部
京城黃金町貳丁目 ドラッグ商會支店
詳細は本月六日の本紙御覽 御問合せ御注文に

金泉 乃城 間自動車著發時刻 [illegible]
居昌自動車部 金泉支部 金泉電話四八番 ▲小荷物運搬仕候

原州 江陵 間自動車發著時間 六月二日より左記の通り
原州發每日午前八時 江陵著後七時
江陵發每日午前八時 原州著後七時
京釜泉水原驛前
中央自動車組合 電話一四七番

日本郵船 仁川出帆

大連行、天津行 相模丸 六月十九日 / 三河丸 七月九日 / 商砂丸 六月廿九日 正午出
仁川海岸町十二丁目 電話十一番 堀回漕部

尼崎汽船 仁川出帆

下關、大阪直行 第一太湖丸 六月 日後四時出 / 君代丸 六月 日後四時出 / 大有丸 六月八日後四時出
群山、下關、神阪行 君が代丸 六月九日後四時出
仁川海岸通三丁目 電話九番 高杉回漕部

阿波共同汽船 仁川出帆

大連直行 (關東廳遞信府命令船) 廿一共同丸 六月八日後入港 六月九日正午出港
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送取扱仕候 大連にて當地行定期船接續海路連絡仕候
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番) 仁川代理店 野口商會
元山代理店 春日町(電話二四四七番) 田口回漕部
京城代理店 南大門通(電話二七六〇八二) 河村運送店

朝鮮郵船出帆

天候船舶等ノ爲メ發著日時變更スル場合有之候ニ付詳細ハ本社又ハ各地支店出張所代理店取扱店ニツキ御承合被下度シ

○敦賀行 清津發城津、元山經由 平壌丸 六月十九日 清津發 / 六月廿二日 元山發
○浦汐行 大阪發門司、釜山、元山、城津、經由 山陽丸 六月十八日 釜山發 / 六月二十日 元山發
○雄基行 關門發釜山各港經由 ×印江原道寄港セズ ×京畿丸 六月十四日 釜山發 / 六月十七日 元山發 / 咸鏡丸 六月十九日 釜山發 / 六月廿三日 元山發
○元山雄基線 元山起點各港經由 鏡城丸 六月十一日 元山發
○大阪行 浦汐發清津、城津、元山、釜山、門司經由 平安丸 六月十四日 元山發 / 六月十六日 釜山發
○關門行 雄基發各港經由 ×印江原道寄行セズ ×麗耶山丸 六月十五日 元山發 / 六月十八日 釜山發 / 忠淸丸 六月十一日 元山發 / 六月十五日 釜山發
○金剛山遊覽便 元山發長箭行月六回但シ自六月至十月五ヶ月間 穩城丸 六月十三日 元山發
○鬱陵島行 釜山發浦項及各港經由 盈德丸 六月十二日 釜山發
○釜山浦項線 釜山發長生浦九龍浦經由 江陵丸、襄陽丸、每日釜山、浦港發
○濟州島行 釜山發長承浦統營麗水巨文島經由 昌平丸 六月十日 釜山發
○濟州島行 木浦發 東廻八所、西廻六島經由 東廻慶興丸 六月十二日 / 西廻公州丸 六月十九日 木浦發
○釜山麗水線 海州丸、巨濟丸、統營丸、每日 釜山麗水發
○木浦麗水線 (麗水ニテ釜山行接續) 金海丸 六月十日 木浦發 (以下三日目毎ニ木浦發)
○多島海行 (木浦發多島海各島行) 公州丸 六月十四日 木浦發
○木浦行 仁川發各港經由 慶興丸 六月十三日 仁川發
○海州行 仁川發各港經由 錦江丸、成歡丸每日一回 仁川海州發
○鎭南浦行 仁川發各港經由 晉州丸 六月十六日 仁川發
○靑島行 仁川ヨリ靑島直行大連芝罘寄港 江原丸 六月十一日 仁川發
○鎭南浦大連直行線 鎭南浦大連直行 宗信丸 六月十二日 鎭南浦發
◎朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡運送ノ便アリ
本社 京城南大門通(電話一九五二・三) 釜山支店 元山出張所 仁川代理店 堀回漕部 木浦代理店 山野回漕部 京城荷客取扱店 南大門驛前 松原運送店 (其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ)

大阪商船 汽船出帆

仁川出帆 神戸、大阪行 △日淸丸 六月十一日 後五時出 / 能登丸 六月十四日 後五時出
元山出帆 西湖津、新浦、城津、淸津行 宮島丸 六月十二日 後十二時 / 釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 六月十一日 後九時出
大連出帆 上海、基隆、打狗行 湖北丸 六月九日 前六時出 / 基隆丸 六月廿一日 後四時出
內地各港出帆主要航路 歐洲行 一年四回 / 南米洲行 一年四回 / 北米洲行 毎月一回 / 濠洲行 毎月二回 / 孟買行 毎月二回 / 南洋行 毎月一回
御注意 [illegible]
京城 切符發賣所 仁川 大阪商船株式會社仁川支店 電話二五〇番 [illegible]

釜山出帆廣告

汽船 門司、神戸、大阪行 和歌浦丸 月 日後五時出 / 立神丸 月 日後五時出
元山、淸津、浦鹽行 和歌浦丸 月 日後十時出 / 立神丸 月 日後四時出
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 四月 日後六時出
門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 四月 日後六時出
本船取扱店 釜山港埋立新町 大池回漕部

八日後場 大阪期米 二十六圓七十六錢[illegible]
▲八日後場 仁川期米 二十五圓七十[illegible]
九十錢 △先限一節二十二圓六十五錢六錢七錢八錢九錢七十錢一錢七十[illegible]
八日の八月限 仁川米豆取引所
平均値段 [illegible]

[illegible]其の申込全部に應せんか在米の品に反し田舍は道に粗食に慣れ居る[illegible]切れとなるは旬日を出でざる爲めと値段の安き點より需要多く地方[illegible]なき洋配なり殊に東北地方は元來外米を多く採りし處とて大部分は[illegible]と當局は樂觀し居れり(東京)

●正貨益々增加
[illegible]二百萬圓の增加なり其內譯如左(東京)
▲所有者別 [illegible]